

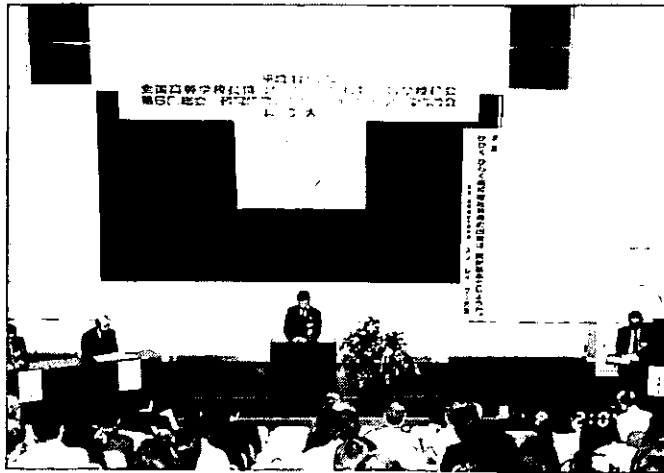
平成12年度(2000)

全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会
第6回総会・研究協議会並びに学科主任等研究協議会

兵庫大会報告

全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会

開 会 行 事



来 賓



主 催 者



兵 庫 県 教 育 委 員 会
高 校 教 育 課 長
杉 本 健 三



神 戸 市 教 育 委 員 会 指 導 部 長
山 口 芳 弘



文部省初等中等教育局職業教育課教科調査官
矢幅清司



厚生省社会・援護局施設人材課福祉人材確保
対策室マンパワー企画係長 資格・試験係長
中村修司



全国高等学校長協会家庭部会理事長
山田辰明



全国高等学校長協会家庭部会
福祉科高等学校長会会長
山口祐司



兵庫県立新宮高等学校長
鈴木英雄

研究協議会の様子

校長部会

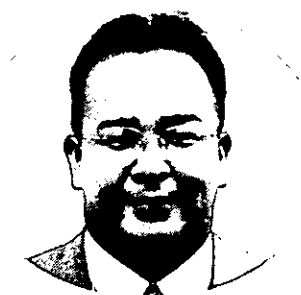


主任等の部会



研究協議会発表者

分科会①授業研究

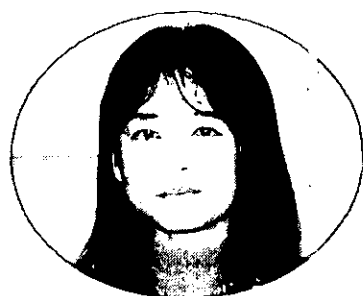


木山良美(兵庫県立日高等学校教諭)



外崎留理子(青森県立七戸高等学校教諭)

分科会②現場実習



萩原明子(茨城県立古河第二高等学校教諭)

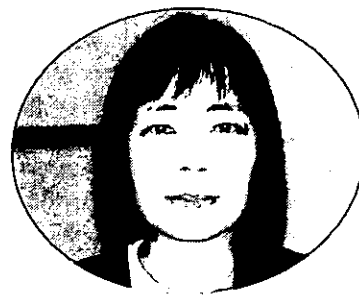


吉田さとみ(福島県立光南高等学校教諭)

分科会③資格所得

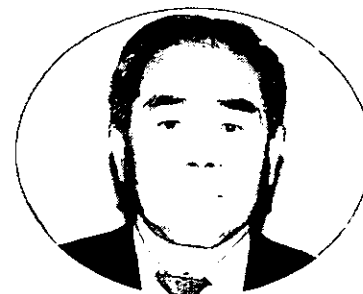


安松耕司(埼玉県立不動岡誠和高等学校教諭)



福山睦枝(愛媛県立北条高等学校教諭)

分科会④進路指導



島村健二(鹿児島県加治木女子等学校教諭)



冨井恵子(三重県立上野商業高等学校教諭)

会場の様子



全体報告会



全国高等学校長協会家庭部会事務局長 小島和雄



北海道函館大妻高等学校教諭
池田延己



事務局
栃木県立真岡北陵高等学校教諭 荒井智子

目 次

| | |
|-------------------------------------|--------------------------|
| 平成12年度 兵庫大会の概要 | 1 |
| 来賓・主催者・主管校代表者 | 2 |
| あいさつ「福祉教育の充実に向けて」 | |
| 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会会長 山口 祐 司 | 3 |
| 理 事 会 | 4 |
| 学科主任代表者会議 | 5 |
| 開 会 行 事 | 6 |
| 講 演 会「ひびく・ひらく高校福祉教育の出発は、何が基本でしょうか。」 | |
| 講師 関西福祉大学学部長（社会福祉学博士） スン・レイ・ブー | 8 |
| 基調講演Ⅰ 厚生省からの報告 | 12 |
| 基調講演Ⅱ 文部省からの報告 | 13 |
| 校長部会・総会 | 14 |
| 平成11年度全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会事業報告 | 15 |
| 平成12年度全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会事業計画 | 16 |
| 平成11年度全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会会計決算書 | 17 |
| 平成12年度全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会会計予算書 | 18 |
| 校長部会・研究協議会 | 19 |
| 主任等の部会・研究協議会 | |
| 分科会① | 22 |
| 分科会② | 27 |
| 分科会③ | 31 |
| 分科会④ | 36 |
| 全体報告・指導講評・閉会行事 | 40 |
| 兵庫大会を終えて | 兵庫県立新宮高等学校長 鈴木 英雄 44 |
| 主管校の学科主任として | 兵庫県立新宮高等学校福祉科 長 森 順 子 44 |
| 資料 | |
| 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会規約 | 45 |
| 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会役員 | 46 |
| 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会総会 | |
| 並びに学科主任等研究協議会会場地区一覧表 | 46 |
| 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会学科主任代表者会 | 47 |
| 全国大会主任等研究協議会分科会分担表 | 48 |
| 国家試験解答速報手順 | 49 |
| 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会加盟校一覧 | 50 |
| あとがき（諸連絡） | |

平成12年度 兵庫大会の概要

- 1 研究主題 高等学校福祉教育の充実と発展をめざして
— ひびく・ひらく高校福祉教育の出発 —
- 2 期 日 平成12年10月31日（火） <理事会・学科主任代表者会議>
平成12年11月 1日（水）・11月2日（木）<大会第1日目・大会第2日目>
- 3 主催等
主催 全国高等学校長協会家庭部会
全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会
後援 兵庫県教育委員会
神戸市教育委員会
兵庫県高等学校長協会家庭部会
主管 兵庫県立新宮高等学校
- 4 会 場 神戸市総合教育センター（神戸市中央区東川崎町 1-3-2）

5 基本日程

10月31日（火） 役員会

15:00 15:30 17:00

| | |
|--------|-----------|
| 受 付 | 理 事 会 |
| | 学科主任代表者会議 |

11月1日（水） （大会第1日目）

9:00 30 10:15 11:45 13:15 14:00 17:00 18:00 20:00

| | | | | | | | |
|--------|------|-----|----|--------------------|------------|--------|-------|
| 受 付 | 開会行事 | 講演会 | 昼食 | 厚生省 文部省 基調講演 | 校長総会・研究協議会 | 休 憩 | 教育懇談会 |
| | | | | | 主任等研究協議会 | | |

11月2日（木） （大会第2日目）

9:30 10:55 11:05 11:45 12:15

| | | | |
|-------|--------|---------------|-----|
| 全体報告会 | 休 憩 | 文 部 省 指導講評 | 閉会式 |
|-------|--------|---------------|-----|

6 参加校（者）

111校 （211名）

来賓・主催者・主管校代表者

1 来 賓

| | |
|--|---------|
| 文部省初等中等教育局職業教育課教科調査官 | 矢 幅 清 司 |
| 文部省初等中等教育局教科書課教科書調査官 | 山 本 美 香 |
| 厚生省社会・援護局施設人材課福祉人材確保対策室 マンパワー企画係長 資格・試験係長 | 中 村 修 司 |
| 兵 庫 県 教 育 次 長 | 陰 山 茂 |
| 神 戸 市 教 育 委 員 会 指 導 部 長 | 山 口 芳 弘 |
| 神 戸 市 教 育 委 員 会 指 導 第 1 課 指 導 主 事 | 田 阪 義 英 |
| 兵 庫 県 高 等 学 校 校 長 協 会 家 庭 部 長 | 伊 東 義 矩 |

2 主 催 者

| | |
|------------------------------|---------|
| 全国高等学校長協会家庭部会理事長 | 山 田 辰 明 |
| 全国高等学校長協会家庭部会 福祉科高等学校長会会長 | 山 口 祐 司 |
| 全国高等学校長協会家庭部会事務局長 | 小 島 和 雄 |

3 主管校代表者

| | |
|-------------------------|---------|
| 兵 庫 県 立 新 宮 高 等 学 校 校 長 | 鈴 木 英 雄 |
|-------------------------|---------|

福祉教育の充実に向けて

全国高等学校長協会家庭部会
福祉科高等学校長会会長

山口 祐司

皆さん今日は。全国各地からこのように多数の先生方のご参加をいただき、第6回総会・研究協議会並びに学科主任等研究協議会が盛大に開催できまして大変嬉しく存じます。

ご来賓として、文部省初等中等教育局職業教育課教科調査官矢幅清司先生、同じく文部省の教科書課教科書調査官山本美香先生、厚生省社会・援護局施設人材課福祉人材確保対策室中村修司先生、そして兵庫県教育委員会高校教育課長杉本健三先生をはじめ地元教育関係諸先生方のご臨席を賜り誠にありがとうございます。

さて、昨年3月文部省告示により、高等学校学習指導要領が改正され、教科「福祉」が「情報」とともに職業に関する専門教科として創設されました。平成15年度からの実施に向けて、各学校とも準備を進めているところと存じます。

教科「福祉」の教員養成については、今年度より14年度までの3年間、現職教員等講習会が開催され、参加者に教科「福祉」の免許が与えられます。本日この大会においていただいた先生方の中にも、本年と現職教員等講習会に講師として、あるいは受講者として参加された先生が含まれていると思います。夏休みの暑さの中での15日間の講習大変ご苦勞さまでした。来年以降の講習に参加される先生方もよろしくお願い致します。現職職員等講習会に参加できる先生は、基礎免許（家庭・看護・公民）を有し、福祉に関する指導経験があるなど一定の知識と技術をもち、平成15年度より福祉を担当する予定の教員に限られています。基礎免許以外の先生方は、教育職員資格認定試験にぜひ挑戦していただきたいと思います。

ところで、介護福祉士国家試験は平成11年度第12回目を迎えました。福祉系高等学校の合格率が昨年まで年々上昇してきておりましたが、11

年度は44.9%となり、昨年より8.1%も低下してしまいました。44.9%という数字はNHK学園が含まれての数字であります。福祉系高等学校の合格率は35.6%とかなり低下しています。

全国高等学校長協会家庭部会及び全国福祉科高等学校長会では、介護福祉士の受験資格に必要な教科・科目及び単位数の見直について厚生省及び文部省に要望書を提出しております。しかし、11年度のように合格率が低下した状態では、単位数を削減する要望は難しいのではないかと推測いたします。合格率を高めるべく、各学校努力していただきたいと思います。今回の学科主任等の研究協議会の分科会③で、介護福祉士国家試験対策について十分に協議を進めて下さい。

文部省及び厚生省への要望書は、本大会実施要項の中に掲載されています。一度ご覧下さい。福祉教育に関する施設・設備の充実にについて、文部省へ要望しておりますが、現在文部省でその基準を作成中とのことであります。できるだけ早く新基準ができることを期待いたします。

さて、福祉科校長会への加盟校は、現在165校となりました。昨年度末の147校より18校増加しています。それぞれの地域で福祉科校長会への加盟を呼び掛けていただき、加盟校が増えることを望んでおります。

今大会の研究主題は「高等学校福祉教育の充実に発展を目指して一ひびく・ひらく高校福祉教育の出発」であります。3年連続して主題は変わっていませんがこの大会までは大変よいスローガンではないかと思います。平成15年度からの新教育課程実施に向けての準備の大会として、現在それぞれの学校で創意工夫して進めている福祉教育の方針を示していただき、互の研究の場となることを希望いたします。

最後になりましたが、この大会開催にあたり主管校新宮高等学校をはじめ、協力校の兵庫県の先生方、近畿地区の先生方には大変お世話になります。よろしくご挨拶申し上げます。

この兵庫大会が実り多いすばらしい大会になりますよう祈念いたしまして、ご挨拶いたします。

理 事 会

平成 12 年 10 月 31 日（火） 15:30～17:00

神戸市総合教育センター 705 号室

司会 瀬川孝三（岩手県立一関第二高等学校長）

はじめに

震災からみごとに復興された神戸市にある神戸市総合教育センターにおいて、文部省教科調査官 1 名、家庭部会代表 2 名、地区理事 7 名、監事 1 名、福祉部会代表 2 名、神戸市教育委員会代表 1 名、主管校関係者 2 名の列席のもと第 6 回兵庫大会に関わる運営の一切について協議が進められた。

1 あいさつ

- ・全国高等学校長協会家庭部会理事長
山田辰明
- ・文部省初等中等教育局職業教育課課教科
調査官 矢幅清司
- ・神戸市教育委員会指導第 1 課指導主事
田阪義英
- ・全国高等学校家庭部会事務局長 小島和雄
- ・第 6 回総会主管校兵庫県立新宮高等学校長
鈴木英雄
- ・全国高等学校長協会家庭部会
福祉科高等学校長会会長 山口祐司

2 報告事項

- (1) 平成 12 年度役員の確認等（山口会長）
昨年度と変更のあった 1 名について報告
近畿地区 兵庫県立新宮高等学校長鈴木英雄
- (2) 平成 12 年度加盟校報告（事務局 猪瀬）
平成 12 年度新規加盟校 19 校、脱会校 1 校、
現在 165 校加盟
- (3) 平成 12 年度兵庫大会について（主管校 鈴木理事）
参加申し込みが多くあった。また本年度は主任等分科会を 4 つに分けテーマを多く取り入れた。

3 協議事項

- (1) 平成 11 年度事業報告及び会計報告
（事務局 猪瀬）
- (2) 平成 12 年度事業計画及び予算審議
（事務局 猪瀬）

本年度は報告書を各校 2 部配布する予定。福祉部会活性化のため広報部、研究部への補助を予算化し、調査統計部への補助を増額した。また、印刷費・会議費も増額した。

- (3) 要望書について（山口会長）
文部省及び厚生省へ「高等学校における福祉に関する学科・コース等の教育内容の充実と振興について」の要望書を提出した。

矢幅調査官より「施設設備についての要望についてはなるべく詳しく具体的に文書でまとめて提出してほしい」との助言があった。さらに平成 15 年 4 月より福祉に関する基準が決められることが報告された。

- (4) 次期開催について（東北地区 瀬川理事）
役員会 10 月 24 日（水）
全国大会 10 月 25 日（木）26 日（金）
公開授業を予定している。

主管校 岩手県立一関第二高等学校

- (5) 平成 14 年度開催地区について
（関東地区 佐々木理事）
ワールドカップの年なので南関東では宿泊施設が確保できにくく、主管校は茨城県立古河第二高等学校が候補にあがっている。

- (6) 平成 13 年度第一回理事会について
（山口会長）

・5 月 23 日（水）予定

- (7) 平成 13 年度役員について
任期は 2 年で、来年度は相当入れ替わる。

- (8) その他
 - ・近畿大会の概略を主管校より説明する。
 - ・校長会研究協議会においてある程度テーマを掲げる必要がある。
 - ・週 5 日制における授業時間、進路の問題などを今後のテーマとして考えていきたい。
 - ・大会の内容が年々充実してきている。
 - ・研究主題について来年度は検討した方がよい。

記録 松本 美幸（奈良県立榛原高）

学科主任代表者会議

平成 12 年 10 月 31 日 (火) 15:30 ~ 17:00
神戸市総合教育センター 704 号室
司会 池田延己 (函館大妻高)
荒井智子 (真岡北陵高)

- 1 開会の言葉 事務局 荒井 (真岡北陵高)
- 2 あいさつ 池田 (函館大妻高)

学科主任会は平成 5 年不動岡誠和高校加藤校長が尽力されスタート、平成 7 年不動岡誠和高校井上校長の元 74 校加盟で発足した。

現在 165 校加盟。

教科福祉は 2002 年からスタート、中央法規から教科書 (社会福祉実習・社会福祉演習を除く) がでる。一橋出版は社会福祉基礎だけ出す予定。現職教員等講習会も終了し、数名を除き 11 月中旬に認定される。資格認定試験は、183 名が受験、合格者 44 名。大会の資料に試験問題が入っているので参考にしてほしい。現在、家庭・公民・看護の免許を持っている人で福祉を教えている人は講習を受けて免許を取る方がよい。

週 5 日制にむけて文部省は 32 単位を厚生省に要求しているが、34 単位になる見込み。

厚生省は国家試験の合格率の低さを問題としている。国試合格率を上げなければならない。国試受験可能校は、今度でる教科書は国試内容を 60% しか網羅していないので、中央法規出版の養成講座 14 冊を使わざるを得ない。

3 報告事項

- (1) 兵庫大会について 長森 (新宮高)

授業研究は、開催地の事情で開けなかった。講演はスン先生、分科会は 4 つで了承願いたい。

- (2) 総会資料について 荒井 (事務局)
- (3) その他 池田 (函館大妻高)

高校と大学の棲み分け、受験校・総合学科・それ以外の福祉を教える学校の役割は何なのかこれから考えていかないと生き残っていけない。

高校と大学の連携が重要だ。今度の校長会で大妻の校長から要請してもらう。

教員養成系の大学で教科教育法を教えられる

先生がいない。大学では福祉を高校で教えている人で修士課程までいった人を欲しがっている。

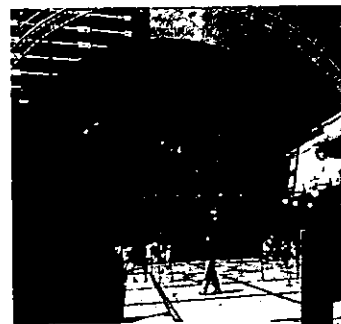
社会福祉援助技術の充実が大切である。講習会を開いているのでどんどん参加して欲しい。

4 協議事項 荒井 (事務局)

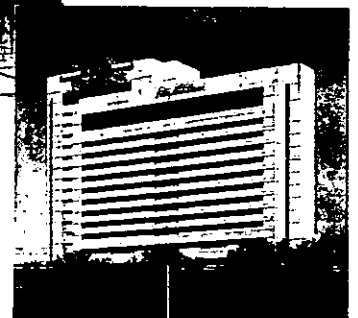
- (1) 学科主任代表者分科会組織分担について
- (2) 国試解答速報手順について
理事校 (地区会員校) 解答 → 事務局 → 理事校 → 会員校へ
- (3) 基礎調査集計報告
- (4) 現場実習マニュアルについて
- (5) 分科会研究協議会 司会者・報告者について
- (6) 平成 13 年度学科主任代表者会議について
平成 13 年 5 月 23 日 (水) 予定
- (7) 平成 13 年度役員改選について
2 名のうち 1 名は残って欲しい。
- (8) その他
国試二次対策について分科会報告会で説明の必要有りとの意見が出た。

5 閉会の言葉 事務局 荒井 (真岡北陵高)

記録 加納 明彦 (大阪府立松原高)
西山 牧子 (")



会場周辺



開 会 行 事

平成 12 年 11 月 1 日 (水) 9:30 ~ 10:15

神戸市総合教育センター大ホール

司会 山崎由人(神戸市立六甲アイランド高等学校長)



1. 開会の言葉

奈良県立榛原高等学校長

大矢 巖

2. 主催者あいさつ

全国高等学校長協会家庭部会理事長

山田 辰明

1995 年の大震災では多くの方が亡くなりました。ご冥福をお祈りしたい。寺田寅彦は「天災は忘れた頃にやってくる」と言ったが、最近では忘れる間もなくやってくる。天災に対し、有効な手段はなく、日頃の準備以外はありません。大震災の後、大きな変化が生じた。ボランティア休暇制度も創設され、震災でのボランティア活動などボランティア元年となった。

さて、現在は福祉の時代。福祉に求められるものも大きく課題も大きい。先日のある会議の講演でサミットの食事の責任者が「心の重視」を訴えていた。心が伴っていれば技術は後からついてくると。福祉でも同じことであると私は思う。そういう意味では高校時代は多感で大切な時代である。今回が実り多い大会となるよう活発な議論をお願いしたい。

全国高等学校長協会家庭部会

福祉科高等学校長会会長 山口 祐司

昨年の3月、文部省の告示により教科「福祉」が専門教科として創設された。本年度から3年間にわたり「現職教員等講習会」が行われ教員免許を付与される。今回の参加者の中にも講師として、受講者として参加された方も多いと思う。この講習会には基礎免許が必要。それ以外の免許の先生は資格認定試験があり、今年から実施された。昨日、文部省より報告があり、200名程度の受験者があったが、合格者は少ないようである。

ところで、介護福祉士国家試験は12回目を迎えた。一昨年まで、年々上昇してきた合格率が昨年度は低下した。高校の合格率は35.6%と低い。新カリキュラムに向け、専門科目の単位数の削減を文部省にお願いしているが、合格率が低下しては実現しにくい。合格率の上昇をお願いしたい。その他、文部省にお願いしていることは大会冊子に載せている。今回の大会が平成15年に向けての準備の場となれば幸である。

3. 来賓祝辞

文部省初等中等教育局職業教育課

教科調査官

矢幅 清司

平成15年に向けて、新教科「福祉」に対し、教科書・施設・免許の準備が進んできた。今後は法整備ではなく、内容の整備が必要である。この大会の充実を期待する。

厚生省社会・援護局施設人材課福祉人材確保
対策室マンパワー企画係長 資格・試験係長

中村 修司

参加の先生方には福祉人材の養成に対し、お礼を申し上げます。今年4月の介護保険の施行等社会福祉の基礎構造改革が進められている。また、その為には福祉専門職の質の向上が重要であり、厚生省としては教育課程の見直しに伴う介護福祉士国家試験の内容の見直しを行っている。平成15年度からの新カリキュラムにより、福祉従事者養成の充実を期待したい。今大会はその為の重要な役割を果たす大会である。

兵庫県教育委員会高校教育課長

杉本 健三

福祉教育の充実是最も大事なことと認識している。先生方のそれぞれの地域や学校での御尽力に敬意を表する。

5年半前の震災では全国各地から、世界の各地からの支援により復興できた。このような中で、学校教育は大きな教訓を授かった。高等学校では共に生きていく心、そしてそれを実践できる人間を育成する趣旨から、ボランティア実践という科目を設置した。日々の時間割の中に入れ、単位を認定する。福祉施設に行ったり、学校で手話の勉強などを行う。また、体験活動という科目も設置した。これは体験活動も含め、その他の地域の企業へ出かける。これも時間割の中に入れる。以前から小学校や震災後の中学校でも行っている。本県ではこのような福祉教育を行っているが、まだまだ不十分。全国の先生方と交流を通じて益々の福祉教育の充実を念願して挨拶とする。

神戸市教育委員会指導部長

山口 芳弘

地元として歓迎の意を表したい。震災の折には本当にお世話になった。「がんばろう神戸」を合い言葉に我々も頑張ってきた。神戸市では人と人のふれあい交流、共に築く街づくりを震災での教訓を活かし市民が一体となって取り組んでいる。また、教育の柱として共に生きる社会を目指す人権尊重の教育、夢や希望を持ちた

くましく生きる力をはぐくむ教育を大きな柱としている。子供たちにその力をどうつけさせるかの一例として、社会福祉協議会とタイアップして福祉協力校を指定し、いろいろな取り組みを行っている。一つの成果として、夏休み中の福祉施設での体験活動を行っているが、本年も3千名弱の生徒たちが参加した。この大会が今後の福祉教育の深まりと広がりにつながることを期待したい。

4. 来賓紹介

滋賀県立長浜高等学校長

瀬戸川 恒雄

5. 主管校挨拶

兵庫県立新宮高等学校長

鈴木 英雄

近畿地方の特殊事情により、理事が全国では2年交代であるが本県では1年で交代し、この会の流れもわからないまま引き受け、近畿地区の福祉系高等学校の協力を得て、何とか今日の日を迎えた。我々、お世話する者としては、めったに経験することができないミレニアムの年にこの地で大会を持つことができたことは非常に幸せに思うが、何分十分なことができない。この2日間を意義のあるものに皆さんの力でいただきたい。

6. 閉会の言葉

奈良県立榛原高等学校長

大矢 巖

記録 村元 研二（滋賀県立長浜高）

講演会

平成 12 年 11 月 1 日 (水) 10:15 ~ 11:45

神戸市総合教育センター大ホール

司会 山崎由人

(神戸市立六甲アイランド高等学校長)

「ひびく・ひらく高校福祉教育の出発は、何が基本でしょうか。」



講師：関西福祉大学学部長（社会福祉学博士）

スン・レイ・ブー 氏

プロフィール

1932 年韓国生まれの英国人。フロリダ州立大学で社会福祉の博士号を取得。専門は社会福祉政策論、地域の発展・開発、社会福祉教育。1995 年までの 37 年間、ウエストヴァージニア州立大学、オクラホマ州のフィリップス大学など、アメリカ合衆国の 7 つの大学で、執心教授、学部長、副学長、学長などを歴任する。同時にアメリカの社会福祉教育協議会の大学認可委員として、よりよいソーシャルワーカーを育成するためのカリキュラム開発及び評価に尽力する。1997 年 4 月関西福祉大学教授。1998 年学部長に就任。現在アメリカソーシャルワーク地域実践と社会行政学理事。関西社会福祉学会理事。赤穂市総合計画審議会福祉・教育部会長。

I はじめに

私の経験はアメリカでの経験である。アメリカでは、高等学校で福祉の勉強をさせることはない。歴史的には福祉の教育はアメリカから始まった。ニューヨークのコロンビア大学で、今から 102 年前、大学院を中心に始まった。1972 年までは、大学院の修士号を中心に、福祉分野で働く専門家、いわゆるソーシャルワーカーの教育をしていた。専門的には 1972 年に初めて学部がつくられた。アメリカでは、大学の認可は、社会福祉大学あるいは学部の協議会で認可をするようになっていく。専門家たちが集まって、その専門の分野を認めるシステムになっている。10 年近く、その協議会で、学部でソーシャルワーカーを養成する必要があるかないかという議論が続いた。

1964 年にアメリカの貧困問題を解決するため

に、ヒューマンサービスという立場で、2 年の短期大学プログラムをつくって、色々な分野で働く人を養成していた。例えば、福祉の施設とか、秘書あるいは運転手も、2 年のヒューマンサービスの分野で勉強した人が働くようになった。それは一つの環境づくりとして、援助を受ける人たちに対して、援助の始めから終わりまで継続性と一貫性が必要であること。もう一つは、貧民たち、例えば、生活保護をもらう人たちは、援助をもらい始めたら、ずっと援助をもらう可能性がある。親がもらうと子どもたちもまたもらう状況になることが、研究でわかってきた。二世にまたがる福祉は望ましくない。可能ならば独立させて、独立のもとで福祉を考えよう。アメリカでは、生活保護を受けるのは未亡人が多い。子供のために仕事ができないから、国は生活保護をすることになっている。

それで、その生活保護を受ける女性達にも、この社会福祉を勉強させ、独立させる機会を与える必要がある。それは大学に来るのではなくて、大学の教授が、その社会福祉の施設や機関の生活保護の事務室まで行って、教育をし、短期大学の卒業証をもらえるようにした。

私がワシントン D.C で大学の教授をしているとき、我々の大学がそういうプロジェクトをつくって教育をしたことがある。生活保護をもらう人たちは、教育を受けていない人が多い。その文化の違いによって、コミュニケーションができるか不安であった。生活保護をもらう未亡人達にも教育を受けて、短期大学を卒業してもらい、専門家との間に入って言葉を通訳するような立場の人になってもらった。

今は、学部、修士号、博士号といったシステムになっている。アメリカでは、高等学校を卒業した人たちは何ができるのか、4年制大学を卒業した人たちは何ができるのか、大学院はどうか、縦的な立場で研究して、その業務を分配している。現在、日本においては社会福祉の業務内容が明確になっていない。日本でも深い研究までした人が、単純な仕事をするのは無駄だと考えている。私は、日本の高等学校に福祉科がつくれ、福祉科を卒業した人たちは、福祉の幅広い分野で活躍できると考えている。

Ⅱ. 日本の社会福祉制度や教育を取り巻く状況や環境

1. 社会福祉制度の大きな転換期—社会福祉基礎構造改革

日本の社会福祉は今年まで50年間、基本的な構造の変化がなかった。国がお金を出して、援助をもらう人はこの施設に入りなさい、と決めながら援助をしていた。専門性というものは全然考えなくて、措置という言葉を使っていた。それを社会福祉基礎構造改革という名前で、審議会で色々な議論を始めた。その後、介護保険が始まって、それを裏付け、サポートするような法的変化がなければいけない。高齢化や少子化という問題に到るまで、今の状況の福祉では難しいので、今年5月、社会福祉法に改正された。政治、経済、社会、教育に到る様々なシス

テムが変化していく中で、人間の生活も変わっていくものではないか。法律というものは、社会がもっている様々な問題、状況に反応して、政策で国が対応していくものである。日本の福祉法とか教育法というものは、根本的な基本法があって、変化が難しかった。高齢化や少子化は単純に福祉の問題ではないと考えている。それは、教育、福祉、経済、全般の社会に影響するものではないか。特にこの介護保険が、その家族との関係において望ましい影響や望ましくない影響を与えると、日本の家族、地域社会の未来はどうなるのか。

介護保険の基本的な考え方は、可能ならば施設に入らず、家族を基にして、その地域社会を共同体的な立場として、地域で世話できるようにしようということである。新しい社会福祉法もそういう立場で改正になっている。でも実際は、老人ホームをつくって高齢者は向こうに行く。日本の基本的な価値が崩れ、家族というのが弱くなっている状況ではないか。アメリカやイギリスは個人主義だが、福祉や教育の作り方においては、基本的に個人と家族と地域社会を基にして、施設に行くのが一番望ましくないと、予防する法律や政策がつけられている。介護保険がつけられた場合は、他の経済や行政のシステムも変化しなければならぬ。それをサポートするようなシステム、例えば、女性達が安心して仕事ができるようなシステムを構築しなければ難しくなってくる。この社会の変化によって、システム全体がどう動いていくかということが大事である。

2. IT革命（情報技術社会）の到来—個人の価値観の変化、文化の多様性とその構造の多重性、Globalization

IT革命は、ひとつの革命である。ライフスタイルが完全に違ってくる。例えば携帯電話の普及によって、家族の機能、親の権威、責任性にまで変化をもたらし、ライフスタイルまでも変わってしまう状況にある。ITということで人間の価値を変えてしまう。日本のすばらしさは何か。そういう基本的な価値がないと、社会的構造が崩れていく。本来は教育や宗教の役割

が一番重要だが、経済優先になると、価値が混乱してくる。激しい社会的変化が起こってくる21世紀で、先生達が担当する福祉の教育とは何であるか。

福祉は、人間と人間を取り巻く、その社会環境に着目する。学生が現場実習に行き、「本当にこれが日本の福祉ですか。」と泣く。お風呂にはいるとき、みんな裸になって、全然性別がない。教室で講義するときは、呆けた高齢者も魂があるので身体的介護だけでなく、魂を生かし、心的状況をどういう風に活用させて、自立させることができるか、その人が持っている感情を自然に表現できるような状況をつくるかと指導している。教育の場と福祉の現場には大きな開きがあるが、教育は望ましい状況に変化させる環境をつくる必要がある。人間は複雑なものだから、心的、感情的、身体的、知的な状況あるいは魂的なものをどう理解して、福祉の立場で援助できるかを考えなければいけない。

Ⅲ 高校福祉教育の基本的カリキュラム目的と目標

私たちの目指す新しい社会を創造するためには、家族の機能を強化し、共同体としての地域社会を構築しなければいけない。老人ホームが地域に開かれ、その家族と、地域との相互作用、お互いに関係をつくりながらいつでも出入りできるような状況をどうつくるかが大切である。高等学校の福祉教育では、高校生のレベルにあった新しい社会福祉のカリキュラムを考える必要がある。高等学校レベルのソーシャルワーカーの育成に全力を尽くさなければいけない。

1. 社会福祉の現状に関する直接的な知識と情報を得る。

16. 17. 18歳の生徒達が、社会的現状を見て、分別できるような教育は何か。例えば、現場で実習させるときに、その中から情報をもらって知識を高めるが、その現場がすべてではない。

2. 高校福祉教育レベルの理論と実践の基礎となる次のような技能を高める。

①観察能力

②批判的思考力と判断力

③問題の認識能力

④分析能力

⑤問題解決能力

⑥文献検索の図書館利用法

⑦報告書の作成能力

⑧報告書の発表能力

⑨基本的対人関係とコミュニケーション能力

3. 福祉分野の職業を選択するための適性を確認しながら、自己認識と福祉分野の専門的自我の成長を高める。

20年後、日本はどうなるのか。国の権力は弱くなり、中央よりも地方が力を持ち、その市民力によって、福祉力を構築する。政治家や中央と対話できるような状況を作り上げる。社会がそう動いている。30年後の日本の社会がどうなるかを考えながら教育をしなければならない。福祉の分野で活躍できる高等学校の教育文化がつくられれば、未来の日本はすばらしくなる。

Ⅳ 福祉分野の専門的価値を身につける。

一番重要な福祉の専門的価値を、高等学校の教育にどう反映させるか。

1. サービス：いつでも人と人との関係による様々な状況で、ボランティアとしてサービスが提供をされねばならない。私がつくっている1つのプログラムに、高齢者のための地域づくりリーダーシップセミナーがある。大学には地域センターがあって、地域に開放して、みんな集まるようになっている。学生たちが、それを見て自分がソーシャルワーカーになったら、ああいうことをするんだというモデルになっている。日本ではこのようなシステムがないから、サービスが育っていない。

2. 社会的正義：日本は寝たきりがなぜ多いのか。車椅子に乗りながらも生きがいをつくるような文化をどう構築するか。高齢者は死を待つのではなく、社会や家族が支え、本当にいきいきと生きられる状況をつくる。このような社会的正義を福祉教育の中でどう教えるかが重要である。感性を育てることが大切である。

3. 人間の尊厳と価値

4. 人間関係の重要性

5. 誠実

6. 専門的力量：福祉の資質とは何かを考え、資質の向上に努める前向きな生徒を育ててほしい。

V. 未来の福祉社会をつくる高校福祉教育卒業生への期待と教育結果

3年間を学んで、卒業し、福祉の分野で働くようになった時、どういう人間になっているかを考える。1つは知識として何を知っているか、2つ目は何を具体的にやることができるか。3つ目はどのような人が地域社会に、望ましいか。4つ目は、福祉を学び、福祉の分野で働く卒業生としてどうあるべきかを明確にすることである。それを達成するためのカリキュラムの条件を次にあげる。

1. 困難な状況に対処しようとする態度をもつ。
2. 社会をよりよく改善する意欲をもつ。
3. 人間の多様性に対する理解をもつ。
4. 高い政治意識と市民としての責任をもつ。
5. 他者に寛容でありうる能力をもつ。
6. 健全な自己概念と自分に対する自信をもつ。
7. 独立心と自分で何かをしようとする自律的な態度をもつ。
8. 創造性と社会的想像力（人間の問題を社会の問題として考える能力）をもつ。
9. 自分の専門分野の知識と技能を得ようとする態度をもつ。
10. 継続的に学ぼうという意欲をもつ。

福祉科で学んだ生徒は、卒業して、経験しながら、学びながら、さらに自分を高める。未来の日本の福祉を背負っていく人材になる。校長先生も、担当の先生たちも、みんな自信をもってそうなることを確信を持たなければならない。

VI. おわりに

私たちがつくる地域社会－社会福祉は日本の未来である。

最近、大江健三郎さんと経済でノーベル賞をもらったセンという人の新聞の対話で、センさんが書いている。今日本は、世界で優れた経済力を持っている。100年の間で西洋では考えることができない経済革命を達成した。日本は、

経済の運営に作用する様々な道徳的価値観と相互扶助、個人のことを暗黙に関係づくり、拘束をした。人と人とのつながりによって、自分の自由を制限している。人と人との間で、取りあわせる契約を総動員することに成功した。それを社会的規範という。それが崩れたらこの社会は崩れる。それは、日本の経済的経営が、家族的な経営で、共同体的な立場で行われてきたからではないか。それが今日本ではなくなっている。社会保障の根本は、地域社会を共同体化することである。家族にどういう風に力をつけさせ、地域社会のもとで、お互い助け合いながら、自分の地域を支えることが福祉の根本である。世界的な経済革命をした日本をこういう風に替えている。それがどこに行ってしまったのか。復活してほしい。この社会の普遍的価値のなかで日本を再構築する。日本ながらのアイデンティティを維持する。それが教育の基本ではないが。福祉は日本の未来である。

<謝 辞>

宮谷 勝史（兵庫県立日高高等学校長）

スン先生には、熱のこもった多くの示唆に富むお話を頂き、ありがとうございました。日々、教育の現場で、疑問に思い方向性について考えていたことに、今日は先生にはっきりと教えていただいた気がしました。福祉が日本のアイデンティティ、将来に関わると教えていただきました。私たちが失ったものをどう構築していけばよいか考えながら聞かせていただきました。また、次の機会に是非ご指導頂けることを願いつつお礼の言葉としたいと思います。

記録 名原 伸子（和歌山県有田中央高）

神出 雅代（和歌山県有田中央高）

基調講演 I 厚生省からの報告

厚生省社会・援護局施設人材課福祉人材確保
対策室マンパワー企画係長 資格・試験係長
中村修司

1. 社会福祉制度をめぐる最近の動き

日本の社会福祉制度は、戦後、生活困窮者対策として出発したもので、限られた者の保護救済という役割が中心であった。その後、少子高齢化の進展や家庭機能の変化などにより、国民の社会福祉に対する意識が変化し、限られた者の保護救済から、国民全体の生活を支える役割を期待されるようになった。その需要は、今後、ますます増大、多様化していくと見込まれる。こうした状況を踏まえ、近年社会福祉制度の拡充が急ピッチに進められてきた。

平成元年ゴールドプランが策定され、高齢者関係の在宅サービスや施設サービスについて2000年までに整備すべき目標が定められた。平成2年には福祉8法改正が行われ、在宅サービスと施設サービスが住民にもっとも身近な市町村で一元的計画的に提供される改正が整備された。平成4年には福祉人材確保法が制定され、社会福祉従事者の就業の促進、処遇の改善、養成力の強化、資質の向上等の総合的な対策を推進するための体制が整備された。平成6年にはエンゼルプランの策定とゴールドプランの見直しが行われ、平成7年には障害者プランの策定が行われ、高齢者・障害者・児童のそれぞれの分野におけるサービスの提供基盤の整備を計画的に実施するための体制が整えられた。本年4月には介護保険制度が施行され、6月には社会福祉事業法等の改正法が施行されるなど、現在は利用者本位の社会福祉制度、利用者が主役となって福祉サービスの質の向上をめざす社会福祉制度の構築が進められている。

介護保険制度は老人福祉と老人医療に分かれていた従来の制度を再編成し、介護を要する状態になっても、できる限り自宅で自立した生活を送れるように、真に必要な介護サービスを総

合的一体的に提供する利用者本位のしくみを作ろうというものである。一方、本年6月に施行された福祉事業法等の改正法は介護保険制度で取り入れた利用者本位のしくみを社会福祉の全分野の共通の基本原則にしていこうというものである。

2. 社会福祉事業法の一部改正について

(1) 趣旨

昭和26年社会福祉事業法制定以来大きな改正の行われていない社会福祉事業、社会福祉法人、措置制度など社会福祉の共通基盤制度について、今後増大・多様化が見込まれる国民の福祉への要求に対応するため見直した。

(2) 制度改正の概要

改正等の対象となる法律は社会福祉事業法等8つの法律で、「社会福祉事業法」を「社会福祉法」と名称改正した。改正の内容は以下①～④の4つの柱からなる。

① 利用者の立場に立った制度の構築

1. 福祉サービスの利用制度化

行政処分によるサービス内容決定



利用者が事業者と対等な関係に基づきサービスを選択する

2. 利用者保護のための制度創設

ア. 地域福祉権利擁護制度

イ. 苦情解決の仕組み

② サービスの質の向上

第三者によるサービスの質の評価方法を検討中。福祉専門職人材育成のため平成11年度教育課程を見直した。

③ 社会福祉事業の充実・活性化

1. 社会福祉事業の追加

権利擁護のための相談援助事業等9事業を追加。

2. 社会福祉法人の設立要件の緩和

小規模通所授産施設、ホームヘルプ事業に関する要件。

④ 地域福祉の推進

市町村地域福祉計画及び都道府県地域福祉支援計画を社会福祉法に盛り込む。

(3) 法の施行日

平成12年6月7日(段階的に施行)

3. 介護福祉士をめぐる最近の動きと課題

(1) 介護福祉士

法創設の昭和62年以降順調に推移し、平成12年6月末、約209000人。(養成施設卒業生約9万人、国家試験合格者約12万人)

① 養成施設

平成12年度養成施設339校390課程定員約2万2千人。内訳は約7割が専門学校、約3割が大学短大。平成13年度開校希望校現段階で23校。

② 介護福祉士国家試験

第12回国家試験受験者約55000人、合格者は約26000人、合格率約48%

福祉系高校からの受験者(NHK学園専攻科を含む)約6200人、合格者約2700人、合格率約44.9%

第13回国家試験

筆記1月28日、実技3月4日実施予定

(2) 介護福祉士養成校のカリキュラム改正

平成11年10月教育課程見直し。期待される介護福祉士像を提言。

カリキュラムの変更点

① 総時間数1500時間から1650時間へ

② 教育内容の充実

介護保険制度、ケアマネジメント追加、医学知識強化、人権尊重、自立支援の観点、居宅介護実習必修化、介護過程の展開方法追加等

現在、介護福祉士国家試験の内容検討中。早ければ平成14年から実施予定。

(3) 国家試験受験資格必要科目単位数の検討

新学習指導要領と学校週5日制完全実施に対応するため、介護福祉士国家試験受験資格の必要科目単位数の見直しを現在、文部省と連携して検討中である。年内の方針を固め、今年度中に省令改正したい。

記録 三宅 正夫(奈良県天理高)
菊谷 晶子(奈良県天理高)

基調講演Ⅱ 文部省からの報告

文部省初等中等教育局職業教育課教科調査官

矢 幅 清 司

厚生省から科目及び単位数の見直しの報告があったが、文部省も協力し、早急に解決し、結果を届けたいと考えている。

1. 産業教育諸課題に関する報告

(1) 教育改革国民会議

職業観・勤労観をはぐくむ教育を推進。(フリーター対策研究。要因として若年層における職業観・勤労観の希薄化、職業人としての責任感使命感の欠如が指摘されている)

専門高校もしくは専門学科の教育では、ここを強く指導する方策が求められる。

(2) 教育課程審議会における「児童生徒の学習と教育課題の実施状況の評価のあり方について」の中間答申

学力を知識のみで測るのではなく、学習指導要領に示す基礎・基本的な内容が確実に身につけているか、また、自ら学び自ら考える力、生きる力がはぐくまれているかを捉えていこうという提言がされている。具体的にいうと、相対評価から今後は絶対評価に重きを置くようになっていく方向である。学習指導要領上にある内容をどのくらい指導し、どのくらい定着したかが今後評価のものさしになるのではないかと思う。学校でがんばったからではなく、教える内容の定着度を全国同じ基準でみていくということである。今後正式な報告書としてまとめる。

2. 連絡

省庁再編に伴い、1月6日以降、職業教育課の業務が再編され、参事官室の産業教育係で業務を一括処理することになる。研修は教員研修センターを設置し、集約する体制になる。

記録 三宅 正夫(奈良県天理高)
菊谷 晶子(奈良県天理高)

校長部会・総会

平成 12 年 11 月 1 日（水） 14:10～15:00

神戸市総合教育センター大ホール

司会 山口 祐司（全国福祉科高等学校長会会長）



1 開会のことば

瀬川理事（一関第二高等学校長）

2 会長あいさつ

山口 祐司（全国福祉科高等学校長会会長）

全国の多くの先生方の参加により、総会が実施できることを感謝する。開会行事に、福祉科校長会での現状、福祉の教員免許状の件、介護福祉士国家試験の合格状況等の報告があった。今大会が活発な意見の交換の場になることを期待する。

3 議長選出

（山口会長を議長とする提案が承認される）

4 議事

<報告事項>

- ① 平成 11 年度事業報告（事務局）
- ② 平成 11 年度決算報告（事務局）
- ③ 平成 11 年度監査報告（東監事）

<協議事項>

- ① 平成 12 年度事業計画（案）（事務局）
文部省と厚生省の要望書は昨年 12 月に提出

をした。できるだけ早く出してほしいということであった。

現在担当しているいろいろな免許の先生方が講習会を受講できるように要望したいが、その件については既に 3 教科と決定していたのでカットした。

② 平成 12 年度会計予算（案）（事務局）

③ 平成 12・13 年度役員について（山口会長）

近畿地区の理事が昨年度と変わった。あとは同様である。

平成 13 年度の役員については、改選の時期になる。会の運営上、できれば何人かの先生方に残っていただきたい。

④ その他

5 閉会のことば

佐々木理事（高浜高等学校長）

記録 中西 順子（滋賀県守山女子高）

平成11年度事業報告

全国高等学校校長協会家庭部会
福祉科高等学校長会

| 期 日 | 活 動 内 容 | 備 考 |
|-------------------------|--|---|
| 5月27日(木) 10:00～12:00 | 第1回 学科主任代表者会議 ・岡山大会に向けて ・学科主任代表者会組織について | 研究部・調査統計部・広報部 家庭部会事務局会議室 |
| 5月27日(木) 13:30～16:30 | ・第1回理事会 ・役員の選出について ・要望書の作成について ・岡山大会に向けて ・平成12年度開催地区について (近畿地区) | 家庭部会事務局会議室 |
| 10月21日(木) | 全国福祉科高等学校及び福祉教育 実態基礎調査集計報告 | 調査統計部 事務局 函館大妻高 |
| 10月20日(水) | 岡山大会 第1日 第2回 理事会 第2回 学科主任代表者会議 | 岡山大会会場 (ベル学園高等学校) (カルチャーホテル) |
| 10月21日(木) | 岡山大会 第2日 (公開授業・総会・講演会・研究 協議会等) | 講師 文部省初等中等教育局 職業教育課教科調査官 矢幅 清司 氏 |
| 10月22日(金) | 岡山大会 第3日 (研究協議会・閉会行事等) | |
| 11月20日(土) | 社会福祉教育セミナー(日本社会 事業学校連盟)での福祉科関係高 校卒業者の大学入学卒の拡大要望 | 東北福祉大学 |
| 12月13日(月) | 文部省及び厚生省へ要望書提出 | 福祉科教育教員免許状授与・教員 数及び実習助手の定数・施設設備 の充実・介護福祉士の受験資格に 必要な教科、科目及び単位数の見 直し等について |
| 3月24日(金) | 岡山大会報告書の刊行 | A4、300部、50P (うち、写真5P) |

上記のとおり報告します。

平成12年11月1日

会 長 山 口 祐 司

平成12年度事業計画

全国高等学校校長協会家庭部会
福祉科高等学校長会

| 期 日 | 活 動 内 容 | 備 考 |
|-------------------------|--|-----------------------------------|
| 5月25日(木) 10:00～15:30 | 第1回 学科主任代表者会議 ・近畿・兵庫大会について ・学科主任代表者会組織について ・代表者組織の活動について | 午前 — 家庭部会事務局会議室 午後 — アルカディア市ヶ谷 |
| 5月27日(木) 13:30～16:30 | 第1回 理事会 ・役員の選出について ・要望書の作成について ・兵庫大会に向けて ・平成13年度開催地区について (東北地区) | 家庭部会事務局会議室 |
| 6月14日(水) | 文部省及び厚生省へ要望書提出 | |
| 6月15日(木) | 広報「福祉系高校だより」 第1号発行 | 広報部 事務局 一関第二高 |
| 11月 1日(水) | 全国福祉科高等学校及び福祉教育 実態基礎調査集計報告 | 統計調査部 事務局 函館大妻高 |
| 10月31日(火) | 第2回 理事会 第2回 学科主任代表者会議 | 近畿・兵庫大会会場 (神戸市総合教育センター) |
| 11月 1日(水) | 近畿・兵庫大会 第1日 (総会・講演会・研究協議会等) | 講師 関西大学教授 スン・レイ・ブー氏 |
| 11月 2日(木) | 近畿・兵庫大会 第2日 (研究協議会・閉会行事等) | |
| 3月 日() | 近畿・兵庫大会報告書の刊行 | A4、450部、50P (うち、写真5P)各校2部配布 |

上記のとおり提案します。

平成12年11月1日

会 長 山 口 祐 司

平成 11 年度
 全国高等学校長協会家庭部会
 福祉科高等学校長会会計決算書

収 入 額 903,192 円
 支 出 額 721,220 円
 残 額 181,972 円

1 収入の部 (単位:円)

| 科 目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 比較増減(△)額 | 摘 要 |
|-------|---------|---------|----------|----------------------|
| 会 費 | 715,000 | 735,000 | 20,000 | 年会費5,000円×147校 |
| 繰 越 金 | 162,482 | 162,482 | 0 | |
| 雑 収 入 | 10,000 | 5,710 | △4,290 | 利息¥270、報告書売り上げ¥5,440 |
| 合 計 | 887,482 | 903,192 | 15,710 | |

2 支出の部 (単位:円)

| 科 目 | 予 算 額 | | | 決 算 額 | 残 額 | 摘 要 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------------|
| | 当 初 | 補正額 | 計 | | | |
| 総 務 費 | 313,415 | 19,620 | 333,035 | 286,180 | 46,855 | |
| 会 議 費 | 50,000 | | 50,000 | 39,185 | 10,815 | |
| 印 刷 費 | 10,000 | 19,620 | 29,620 | 29,620 | 0 | 事務局印刷費 |
| 旅 費 | 103,415 | | 103,415 | 75,560 | 27,855 | 事務局 1 人分総会派遣費 |
| 通 信 費 | 150,000 | | 150,000 | 141,815 | 8,185 | |
| 事 業 費 | 480,000 | 10,000 | 490,000 | 435,040 | 54,960 | |
| 報告書印刷費 | 400,000 | | 400,000 | 350,000 | 50,000 | A4版 300部 |
| 総会補助費 | 20,000 | | 20,000 | 20,000 | 0 | |
| 調査研究補助費 | 30,000 | 10,000 | 40,000 | 40,000 | 0 | |
| 雑 費 | 30,000 | | 30,000 | 25,040 | 4,960 | 封筒印刷・写真 |
| 予 備 費 | 94,067 | △29,620 | 64,447 | 0 | 64,447 | |
| 予 備 費 | 94,067 | △29,620 | 64,447 | 0 | 64,447 | 調査研究補助費・印刷費へ |
| 合 計 | 887,482 | | 887,482 | 721,220 | 166,262 | |

上記の通り、報告致します。

平成 12 年 5 月 25 日

全国高等学校長協会家庭部会

福祉科高等学校長会 会長 山 口 祐 司

監査の結果、適正に処理され相違ないことを認めます。

平成 12 年 4 月 24 日

福祉科高等学校長会 監事

栃木県立塩谷高等学校長

群馬県立吾妻高等学校長

立 入 輝 夫

東 勲

全国高等学校長協会家庭部会
平成12年度福祉科高等学校長会会計予算書

1 収入の部(単位:円)

| 科 目 | 予 算 額 | 前年度予算額 | 比較増減(△)額 | 摘 要 |
|-------|-----------|---------|----------|----------------|
| 会 費 | 820,000 | 715,000 | 105,000 | 年会費5,000円×164校 |
| 繰 越 金 | 181,972 | 162,482 | 19,490 | |
| 雑 収 入 | 1,000 | 10,000 | △9,000 | |
| 合 計 | 1,002,972 | 887,482 | 115,490 | |

2 支出の部(単位:円)

| 科 目 | 予 算 額 | 前年度予算額 | 比較増減(△)額 | 摘 要 |
|---------|-----------|---------|----------|-------------|
| 総 務 費 | 370,000 | 313,415 | 56,585 | |
| 会 議 費 | 60,000 | 50,000 | 10,000 | |
| 印 刷 費 | 30,000 | 10,000 | 20,000 | 事務局印刷費 |
| 旅 費 | 100,000 | 103,415 | △3,415 | 事務局1人分総会派遣費 |
| 通 信 費 | 180,000 | 150,000 | 30,000 | |
| 事 業 費 | 560,000 | 480,000 | 80,000 | |
| 報告書印刷費 | 400,000 | 400,000 | 0 | A4版450部 |
| 総会補助費 | 20,000 | 20,000 | 0 | |
| 広報部補助費 | 30,000 | 0 | 30,000 | |
| 調査研究補助費 | 50,000 | 30,000 | 20,000 | |
| 研修部補助費 | 30,000 | 0 | 30,000 | |
| 雑 費 | 30,000 | 30,000 | 0 | 封筒印刷・写真 |
| 予 備 費 | 72,972 | 94,067 | △21,095 | |
| 予 備 費 | 72,972 | 94,067 | △21,095 | |
| 合 計 | 1,002,972 | 887,482 | 115,490 | |

上記の通り、提案いたします。

平成12年11月1日

全国高等学校長協会家庭部会
福祉科高等学校長会 会長 山 口 祐 司

校長部会・研究協議会

平成12年11月1日(水) 15:10～17:00

神戸市総合教育センター大ホール

指導助言 矢幅 清司(文部省初等中等教育局職業教育課教科調査官)

中村 修司(厚生省社会・援護局施設人材課福祉人材確保

対策室マンパワー企画係長 資格・試験係長)

司会進行 本橋 恒雄(埼玉県立不動岡誠和高等学校長)

協議題

- 1 介護福祉士の受験資格に必要な教科・科目及び単位数について
- 2 第12回国家試験二次試験について
- 3 進路について
- 4 教員定数・施設設備について
- 5 学科の独立について

1 介護福祉士の受験資格に必要な教科・科目及び単位数について

要望書第3項の「学校週5日制や新学習指導要領に教科「福祉」が位置づけられたことによる教科内容の精選を受け介護福祉士の受験資格に必要な教科・科目及び単位数の見直しについて、厚生省と連携の上、ご検討いただきたい」という要望事項について意見を求める。(司会)

介護福祉士の受験資格を取得するに当たって

1. 15年度以降の科目名の変更
2. 学校週5日制の問題

1、2を前提に教科目及び単履修を見直す必要がある。校長会からの32単位で受験可能にして欲しいという要望については、厚生省が検討している。これからの介護福祉士は質の向上が重要であるので、単位数減については生徒の頑張りや学校側の支援、教員の指導内容の充実を図らなければならない。しかし32単位は無理と思われる。(文部省 矢幅調査官)

厚生省・中村係長にも指導助言をお願いしたい。(司会)

文部省の案を提示していただき、検討しているところである。厚生省としては、意見をふまえたものにしていくと共に、質の確保とのかね

あい計りながら結論を出したい。

(厚生省・中村係長)

高校の卒業時に、受験資格が得られないことは学校の活性化に関わる。是非、実現に向けて努力していただきたい。(司会)

2 第12回国家試験二次試験について

中村係長にお聞きしたい。私共、私立の高校で福祉科5年目を迎えている。私立高校では、いかにして介護福祉士の国家試験に合格するかが最大のポイントである。今年度合格率が下がり、受験会場によって合格の開きもあると聞いている。審査の基準にわかりにくい部分もあるので、どんな基準でやっているのか教えていただきたい。また今年の実技試験の結果についてもあわせて伺いたい。(福井・啓新高 荻原)

合否の決定については、社会福祉振興センターに試験委員会を設けて客観的な基準に基づいて判定している。具体的な基準については承知していない。(厚生省・中村係長)

全体的傾向として一次試験(筆記)に関しては、平年通りの数字である。しかし、二次の実技試験では、合格率がかなり下がったことは指摘の通りである。実技試験の審査員はマニュアルを作り厳しい指導を受けている。

一方、学校現場では、技術中心の教育が行われているためとの指摘を受けたことがある。その結果、受験者は基本に忠実なあまり、専門職として判断しなければならないことも、判断しきれなかったことがあったのではないか。実技試験を単に知識として取り上げるのではなく、目の前の介護者に対して何が必要なのかを判断で

きる技術を持たなければ専門職としての適性を欠くことになる。(文部省・矢幅調査官)

3 進路指導について

今年、就職に関しては厳しく、高校生はとらないという職場の状況であるが、改善点はみられないのか、助言をお願いしたい。

(福井・啓新高 荻原)

就職については「新卒高校生は採用しない。現実には、有資格者を対象として採用する。」という施設が多い。特に大都市では専門学校が多く、介護保険とのからみもあって、資格を持った人が採用される。高校生は有資格者になるかどうかわからない段階で就職しなければならないので、就職にはかなりむずかしい現実がある。

しかし、高校生の若さと使命感を持った行動力は高く評価されている。学校側も熱意を持って就職先に働きかけ、生徒の能力を信じ、資格の不安を払拭して頑張っているのが現実ではないか。かなりの学校でそのような悩みを抱えている。卒業生のフォローアップをきちんとし、授業内容を公開し、地域社会と交流を強め生徒を売り出していく方策しかない。但し、実際に採用となるのは「質」の問題であるので、各高校で自信を持って生徒を育て、大卒であろうと専門学校卒であろうと一緒に戦わせて評価を得るような生徒を育成してもらいたい。

(文部省・矢幅調査官)

福祉科の生徒の就職について、現在、老人福祉施設で入所者に対しての介護福祉士定員の法的措置をする準備は、厚生省としてはないのか。現在、当地区ではホームヘルパーなどの資格のない人が多くいる。施設に対して法律で定員を定めていただければ改善される。

(鹿児島・加治木女子高 桐原)

介護福祉士は何名配置するという方向で見直すという話は現段階ではない。今後介護福祉士の配置基準を明確にされるように事業を所轄している課に働きかけていきたい。

(厚生省・中村係長)

特別養護老人ホームでも介護福祉士を九割も置いている施設もあれば、0に近い施設もある。

介護福祉士の定員の法的な措置が必要である。実際には各施設で専任の介護福祉士を採用していない現実があるので具体的な働きかけをお願いしたい。また進路について意見や情報があれば、お聞かせ願いたい。(司会)

今年就職活動の中で、コンピュータ操作ができる生徒の要望が多かった。コンピュータ時代でもあり必要である。しかし、現実的にはその対応策に苦慮している。1年次、福祉情報として一太郎程度を学習し、2・3年次は専門教科が増えるため課外で行うことになる。卒業し現場に入る時は忘れてしまっていて要望に応えられない。この対応策について教えて欲しい。

(福井・啓新高 荻原)

本校には、情報処理科がある。介護福祉士の資格もあり、パソコンも扱えて、保険請求事務もできる生徒であれば、施設にとってはよいことである。しかし、ワードやエクセルまで何から何まで指導はできない。

高校生であるから資格取得を優先するよりも福祉のハートを持った伸びる可能性のある生徒を育てることが大事である。私たちは生徒の若さと将来性をもっと売り込んでいかなければならない。進路保障もしたいけれど本当に保障しきれぬか。立地条件もあり、生徒の努力もあるので、学校としてはやるだけのことをやったら最後は自己責任ということで生徒に言っていけばよいのではないかと。(愛知・古知野高 小田)

本校では特別養護老人ホームへ就職するより大病院に就職する生徒が多くなっている。入院患者のお世話は介護福祉士が分業制で行っている。(司会)

4 教員定数・施設設備について

本校では、現在、教養福祉科が4クラスあり、その内訳は、教養コース3、福祉コース1である。平成15年から教科「福祉」が認められ、それに伴って現在ある教養福祉から独立して福祉科に移行したいと考えている。既設の家庭学科から福祉学科に移行のため、家庭学科が1つ減少することになる。この場合、実習助手の配置は認められるのか。また、教員定数がプラスに

なるのか、見直しについて教示願いたい。

もう1点は、平成15年度を初年度として平成14年度に募集要項を出さなくては行けないのか、平成13年度に決めなくてはならないのか。

また、私の高校は市立高校であり、都道府県教育委員会の方に手続きを平成13年度か平成14年度に提出するのか。またその時期及び関係書類について教示願いたい。

(北海道・釧路星園高 鈴木)

本校では、福祉科を1つの学科として独立させたい。その場合教員定数はどうなるか。(司会)

どのくらいの教員数が必要なのか。助手も含めて昨年度調査した。できるだけ教員定数が多くなるよう要望しているが、予算の問題もある。

また、施設設備に関しては新しいユニットを平成15年までに策定する予定になっている。

福祉科を設置するための関係資料は各都道府県によって違うのではないかと思う。福祉に関する学科をつくるに当たって文部省や厚生省に出す書類は今のところはない。

(文部省・矢幅調査官)

校内では、福祉の学習ができる施設が乏しい。本校の近くにデイサービスセンターがあり、この施設での空き時間を利用しての代替実習が福祉科目の実習として認められるかどうか。

(岐阜・坂下女子高 酒井)

本来の使い方ではない。高校教育は最初から現場で理解すればよいのではなく、校内でトレーニングした上で、介護される人とコミュニケーションをとりながら実習していくのが本来の姿である。社会福祉実習は、現場学習で外へ行く学習だけでなく、事前・事後の指導は校内で行うよう書いてあるので、そのような使い方はできない。

(文部省・矢幅調査官)

5 学科の独立について

平成15年に教科「福祉」ができるということで、従来の「家庭(学)科」の中で福祉科が残っていくのか。または、学校の判断で福祉(学)科として位置づけられて行くのかききたい。

(鹿児島・宮之城農高 上妻)

現在、学科「福祉」は家庭に関する学科等の

中に位置づけられているが、平成15年度以降の位置づけについては、大学科「福祉」の設置は、県レベルで行うことである。埼玉県では、数年前に独自に設置している。家庭、福祉は共通分野も多く、設置者が設定することになる。また、家庭部分との関係については、全国レベルでは独立すべきとの声もあるが、県レベルでは設置校もまだ少なく予算面からもまだ早いのではないかとの意見が出ている。家庭クラブとの関係については、家庭クラブ加入は、家庭科に関する科目を学習していれば、どの学科も加入できる。

(文部省・矢幅調査官)

記録 中西 順子(滋賀県守山女子高)

主任等の部会・研究協議会

分科会① 授業研究

平成 12 年 11 月 1 日 (木) 14:10 ~ 17:00

神戸市総合教育センター 706 号室

司会： 嶋田 麻知代 (愛知県立古知野高等学校)

松永 光 司 (静岡県立吉田高等学校)

テーマ (1) 社会福祉基礎

発表者 兵庫県立日高高等学校

教諭 木山良美

はじめに

本校では、福祉コース 1 年女子 40 名を対象に社会保険の考え方、社会保険制度について指導する。社会保障の必要性、国民生活との関わりについて、自分自身がどう関わっているかを生徒に考えさせ理解を深めさせている。

1 指導計画

单元名 社会保障及び関連制度の概要

- (1) 社会保障の理念と範囲 …… 2 時間
- (2) 所得保障制度 …… 2 時間 (本時・前半 1 時間「公的年金制度」)
- (3) 医療保障制度 …… 2 時間
- (4) 介護保険制度 …… 2 時間
- (5) その他社会保障関連制度 …… 1 時間

2 本時の指導

| 過程 | 学習内容 | 学 習 活 動 | 時間 | 指導上の留意点 |
|----|------------------|---|------|---|
| 導入 | 年金制度を身近なところから考える | 【発問】 「あなたたちは、どのような人たちが年金をもらうことができるか知っていますか？」 老齢年金だけでなく、他にも給付の種類を簡単にあげておく | 5 分 | 大半の生徒から老齢年金の返答が予想される。 障害年金、遺族年金があることを知らせておく。ここでは、詳細に進めるのではなく、種類だけをあげておく。 |
| 展開 | 年金の種類 | 公的年金制度の体系を理解させる 国民年金 (基礎年金、国民年金基金) 厚生年金 共済年金 二階建て年金制度になっていることを理解させる 年金制度の加入者を考える 第 1 号被保険者 自営業者 農業者等 第 2 号被保険者 サラリーマン等 公務員等 第 3 号被保険者 第 2 号被保険者の被扶養配偶者 【発問】 「あなたたちのお父さん、お母さんは、どんな保険に加入しているかな？」 「あなたたちは、将来はどんな年金に加入するだろう？」 | 15 分 | 公的年金制度の体系を図表化し、板書きする。 図表の説明をしながら二階建ての意味を説明しておく。 昭和 61 年に基礎年金制度が導入されたことを説明しておく。 そこで強制加入、任意加入を説明しておく。 職業に応じて年金制度が異なることを説明する。 保護者のことについてはプライバシーに十分配慮する必要がある。このことについては挙手はさせないでイメージさせる。 |

| | | | |
|-----|------------------------------------|--|---|
| 開 | <p>基礎年金としての国民年金</p> | <p>基礎年金制度の加入者について理解させる 日本国内に住んでいる 20 歳以上 65 歳の全国民が加入する</p> <p>20 歳以上の学生も強制加入になった</p> <p>第 2 号被保険者の扶養配偶者（サラリーマン等の配偶者）も強制加入となった</p> <p>【発問】 「今日の授業の最初にてきた給付の種類を覚えて いるかな？」</p> <p>基礎年金制度の支給について理解させる 老齢基礎年金 障害基礎年金 遺族基礎年金 3 種類についてみる</p> <p>完全物価スライド制になっていることについてみる</p> | <p>25 分</p> <p>基礎年金が加入者によって支えられていることを説明する。 この制度が若い世代の人たちに支えられていることを考えさせる。そして生徒が将来は自分より若い世代に支えられていくことを考えさせる。</p> <p>導入での発問をすることで給付のイメージをもたせる。</p> <p>給付の種類を説明することにより年金がどのように役割を果たしているかを考えさせてみる。 教科書 P80 の表 3-6 を利用して具体的な説明を行う。</p> |
| まとめ | <p>高齢社会における年金の重要性</p> <p>次回の予告</p> | <p>高齢社会になっていくなかで年金によって生活が支えられている人々がいることを理解させる</p> <p>厚生年金・共済年金についてみる その他の所得保障についてみる</p> | <p>5 分</p> <p>年金の仕組みや基礎年金制度のことをふまえて高齢社会になり、高齢者の生活を支えていくうえで年金が重要な役割になってきていることを考えさせてみる</p> |

評価の観点

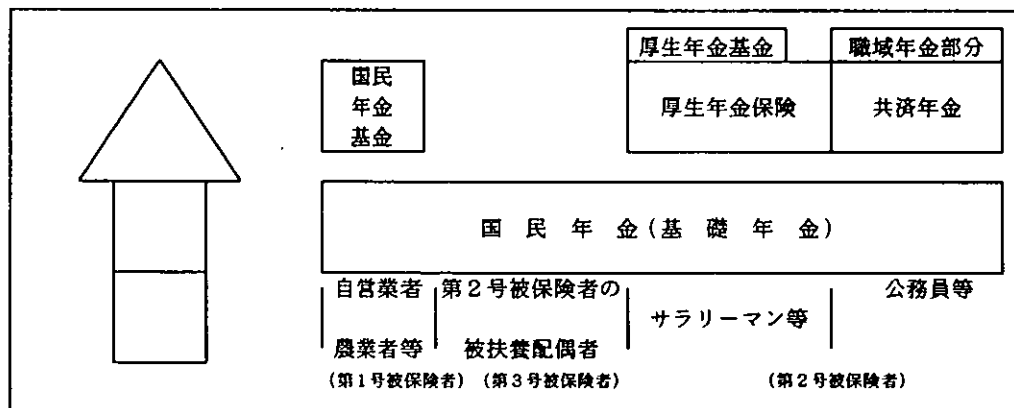
- ① 公的年金制度の仕組みを知ることによって国民生活が支えられていることが認識できたか。
- ② 基礎年金制度を理解することで、若い世代の人たちがこの高齢社会の年金制度を支えていることが認識できたか。

3 指導の工夫

・公的年金制度について

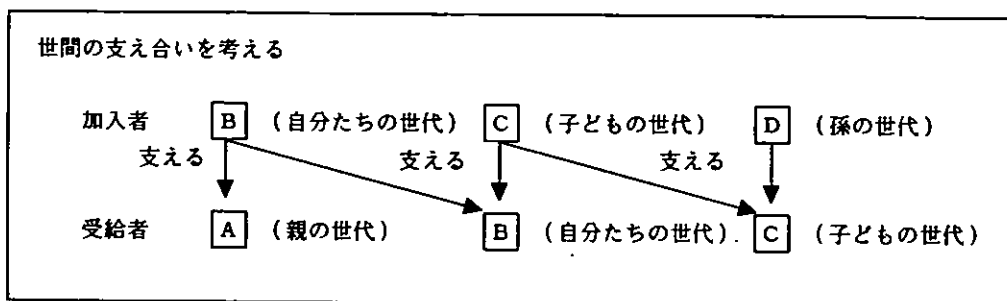
国民年金に視点をあてて進めていく。その中で年金に対するイメージをもたせる。生徒に問いかけると祖父母がもらっている等の意見が出る。理解しやすいように図式で教えている。公的年金制度の仕組みが2階建てになっていることを示す。

板書事項



・年金の考え方

受給は 65 歳からである。世代間の扶養について、家族におろし、わかりやすく説明している。家族の絆、家族の支えを理解させている。



・年金の加入者

誰が加入するのか問いかける。全国民が加入。みんなが入らなければならない。年齢は 20 歳から 60 歳未満まで納入する。注意しなければならないのは、働いている人のみでなく、学生も強制加入となった。年金の種類等も説明している。

4 まとめ

① 生徒に考えさせること

家の経済から考えさせる。家のローン、学費等支出の部分、退職金だけでは食べていけないのではないか。日常生活の部分から考えさせる。専門用語が理解できないので、自分に近い生活の部分から考えさせる。

② 生徒の質によって教育方針を変えなければならない。

③ 図式によって教育する。

④ イメージづけることが大切である。

社会福祉基礎の学習を基礎にして難しい法制度等の内容を楽しく分かりやすく指導している。

5 質疑応答

Q：福祉の導入を考え、進めているところであり、図形化することを参考にしたい。先生の担当は社会科か。福祉関係科目は、何を教えているか。
(坂下女子高)

A：社会福祉学部を卒業し、担当教科は、社会福祉基礎、社会福祉演習、現代社会、日本史。
(日高高)

Q：社会保障は、専門的過ぎて、教科書を理解させるのは難しい。どのような方法で進めているか。
(有田中央高)

A：1学期は社会福祉理論、歴史。2学期は社会福祉六法、社会保障関連、3学期は資格の話、進路のイメージ、生活保護についてワークブックを資料に教えている。
(日高高)

Q：どの教科書を使っているか。フローアに質問。
(司会)

A：介護福祉士養成講座12校、高校生学ぶシリーズ9校、社会福祉基礎(一橋出版)2校、ホームヘルパー養成講座(長寿開発センタ

ー)1校。
(フローア)

Q：1年生で社会福祉概論は難しく、消化不良を起こすのではないか。我が校では福祉の心を大切にしており、養護学校との交流、老人福祉施設の見学、農場を利用して保育園との交流等も大切にしている。日高ではどうか。
(真岡北陵高)

A：家庭クラブ、ボランティアを推進させている。年1回は行うように指導している。具体的には、6月に県のリハビリセンター、7月に知的障害者施設、11月に保育園、日赤の救急法等情報をたくさん送り、引き出しをたくさん作っている。ボランティアは強制させていない。
(日高高)

Q：指導要領が発表されたが今後はどの教科書を使うのか。
(司会)

A：介護福祉士の受験資格が得られる学校である。国家試験の内容として、学ぶシリーズから6・7割、養成講座から9割が出版されているのが現状である。看護科との関係、

将来図を検討委員会で調整中である。

(日高高)

Q：介護福祉士受験資格に限らず、普通科の中で福祉をどのように考えていくのか。

(松戸矢切高)

A：福祉教育はやはり心が大切。これが基本的なものである。しかし、資格が取れるのであれば資格取得を保護者も望んでいる。

(日高高)

テーマ (2) 「社会福祉援助技術」

発表者 青森県立七戸高等学校

教諭 外崎 留理子

1 本校の概要

青森県初の総合学科、単位制である。第2期生の卒業生を送り出している。福祉サービス系列という名で、3年生で2年生の教科を選択することも可能である。自分の将来に応じた多彩な教科が選択できる。

2 本校の取り組み

社会福祉援助技術は2年次で開設している。対人援助を学ぶことが、福祉観や援助観を形成するための動機付けに役立つ教科である。他の教科を学ぶことにより、福祉職に求められる現代的な福祉観を形成出来る。

教科書は、高校生が学ぶシリーズはやさしく述べられているが、国家試験の内容が洩れてしまう恐れがあるので、介護福祉士養成講座を使っている。生徒には、養成講座の教科書を購入させ、そこに大切なことをメモさせて、ノートは作らず、教科書をノート代わりに利用させている。福祉職を目指す人に選択させている。総合学科のため、自分の適性に合わせてとれる。福祉は「やってあげる」ではない。元々は貧困者、障害者の救済からスタートしたが、現在は高齢者も含め国民全体の生活の向上を目指している。時代背景についての理解は、社会科や社会福祉基礎などの他教科とタイアップしていくことが大切である。

また、本校では援助技術の中に手話も取り入れ、2単位取得させている。聾啞協会より、10時間実技指導を受けている。

3 まとめ

ピグマリオン効果(あなたは絶対素晴らしい)を大切にして教師の情熱と意気込みで取り組んでいる。必ず専門職になるんだと言う願望を育て教育している。準備室には、各種の教科書等を置き、いつでも学習出来る雰囲気づくりをしている。写真、絵等からのイメージ化を図っている。

4 質疑応答

Q：社会福祉援助技術を具体的にどのように教えているのか (新宮高)

A：教科書を教える前に、日本国憲法を伝え、世界人権宣言を用い、人権や、権利とは何かを学ばせている。援助技術の歴史、人間は誰でも幸せになれることを伝える。実際のテキストの内容のなかの援助技術の表、ビデオも利用している。 (七戸高)

Q：どこに焦点を当てて、どのようにすればよ

いか。 (新宮高)

A：援助者と利用者の関係を考えさせる。考え方を大切に。コミュニケーションが大切。相談業務は卒業して経験を積みばやっていけるのではないか。それで、福祉観、援助観をベースに教えている。 (七戸高)

Q：新指導要領を現在作成中であるが、実技面は、どのようにしているか。

(坂下女子高)

A：旧課程では、教科書、事例の検討。新課程では、ロールプレイング、簡単な援助のプランニングを考えている。（七戸高）

Q：他校はどうされているか。（司会）

A：グループワーク5時間、最後の時間は発表。生徒と先生の関係も用いる。レクリエーションや手遊びは、地域の福祉まつりから学んでくる。（日高高）

Q：コミュニケーションの技法の実践法はどうされているか。（司会）

A：役場の点字で書いてある案内パンフレットを用いたりして勉強している。手話は、最初の説明通り。新指導要領には、点字は50音や基本ルールを中心に学び、手話は基本的な日常会話を目指している。（七戸高）

A：アセスメント等の用語の理解、援助者の役割について学習している。

（日高高）

Q：現在、手話を教えられている学校は。

（司会）

A：10校。（フロアー）

Q：何時間か。（司会）

A：4時間以内が一番多い。（フロアー）

Q：他校では他にどんなところに焦点を当てているか。（司会）

A：COSからケースワークが始まったこと、バイステックの7つの原則、パールマンの4つのP、インテーク、アセスメント等の用語の理解、援助者の役割について学習している。（日高高）

指導講評

大阪府教育センター産業教育室指導主事

亀平福一先生

最初に質問したい。現任講習会に参加した先生は何人か。（10名）認定試験を受けた先生は何人か。（1名）専門学科は何校か。（21校）コースは何校か。（13校）大阪はコースが2校で、教科をもっている学校が20校である。今日は、福祉の勉強をさせてもらいたいと参加した。厚生省、文部省の報告にもあったように、受験資格に変更があり、新教育課程等、今年・来年と厳しくなっている。各県の教育委員会と太いパイプをもち、情報収集して欲しい。

社会福祉基礎は、原則履修科目で、たいへん難しい教科である。年金の2階建て等を図で示し、楽しく、分かりやすい授業をされている。空間的判断力を指導に取り入れられている。年間計画の終わりに資格の話をして、今後の意識付けを上手くされている。

課題として、クラスが女子ということで、男子生徒が入学してきた時の配慮。評価が難しいので、今後検討する必要がある。

社会福祉援助技術に関しては、多くの面で工夫されており、たいへん中身の濃い資料で、今後役立つ資料である。産業教育という本が廃刊となるが、匹敵するものである。質疑応答の中でも、対人援助に関する知識と技術に高いウエイトが置かれていることが感じられた。

現在の高校生は、地域性もあるが、コンビニと友人と学校と家とアルバイト先の限られた場所で、3年間の人間関係が形成されているのではないか。これは、中学生にも当てはまる地域があるのではないか。その中で、障害者、高齢者に対して自分から入っていけるのか。時にはリーダーシップをとっていけるのか。この辺りをポイントに考えてほしい。

解説書の中にあるように実習のウエイトも大きい。来年は国際ボランティア年である。地域の活動を主体的にされてはどうか。情報は、福祉情報処理にもあるようにインターネットを活用されてはどうか。私自身、聾学校に26年いたが、楽しいから、手話にすんなりと入って行った。日常生活の中での教材のあり方を考えて欲しい。福祉は、大変難しい。すべてが福祉教育に繋がるからである。生徒が福祉マインドを持って常に実践出来るのが大切である。福祉教育にとって、厳しい時代となるが、福祉の花を咲かせて欲しい。

補足 この分科会において、司会者から、著作権の問題があるので、資料は、教師が学習し、教師自身の言葉でプリントを作ろうという共通理解がされた。

記録者 藤田 幸代（京都府福知山淑徳高）

渡邊みどり（京都府福知山淑徳高）

主任等の部会・研究協議会

分科会② 現場実習

平成 12 年 11 月 1 日（木） 14:10～17:00

神戸市総合教育センター 602 号室

司会： 中 田 千栄子（愛媛県立松山城南高等学校）

日 吉 ふく子（宮城県立村田高等学校）

テーマ（1） 現場実習の現状と課題

発表者 茨城県立古河第二高等学校

教諭 萩原明子

1 本校の概要

教養福祉科は、平成5年の学科改変により家政科から茨城県では初めて、関東でも2番目に設置され、今年で8年目を迎える。定員は40名。卒業時に介護福祉士の国家試験受験資格やホームヘルパー養成研修を修了し、福祉を幅広く捉え、進学もできる。生徒は目的意識を持って入学してくる。進路状況は半分以上が進学する。大学は福祉関係、短大は医療系や栄養士など多種多彩。就職は福祉施設が大体10名前後。福祉とは関係ない就職もあるが多くは福祉科での勉強を活かしての採用である。

2 現場実習について

（1）実習計画

| | | |
|-------|----------|----------|
| 履修学年 | 2 年 生 | 3 年 生 |
| 単 位 数 | 3 単 位 | 3 単 位 |
| 実習期間 | 5 日間×3 回 | 5 日間×3 回 |

（2）実習の移動について

毎朝、7：30に学校に集合させる。そこで服装等のチェックを行う。その後、各施設へタクシーで移動する。実習時間は8：30～16：00まで。終了後、タクシーでまた学校へ帰ってくる。

（3）実習内容

2年生では最初は介護技術が不十分なため、利用者の基本的な日常生活の援助を体験する程度。3期頃には介護技術も身につけ、援助させてもらっている。

（4）実習施設

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、身体障害者療護施設、知的障害者更生施設（3年生のみ）など10カ所の施設に4～5人程度ずつ。学校からタクシーで30分程度の所。

（5）委託料について

1人1日1000円、県費で支払う。

(6) 保険について

感染症に対応できる次の保険に入っている。

| | | |
|---------------------------------|--------------------|------------|
| ウインタートウル・スイス保険会社 | | |
| 15日間で・・・1000円(本人負担860円、県補助140円) | | |
| 加害賠償保険 | 対人・・・3千万円 | 1事故・・・1億 |
| | 対物・・・750万円 | |
| 被害賠償保険 | 1名・・・1千万円 | 1事故・・・1億 |
| 障害補償保険(感染症) | | |
| | 死亡・後遺障害 1名・・・150万円 | 入院1日・・・2千円 |
| | 通院 1日・・・1千円 | 手術費用・・・2万～ |

3 実習の指導内容について

(1) 実習前の指導

・1年次の学級懇談での保護者への協力依頼 ・書くことに慣れさせる指導 ・入学時にボランティアカードを配布 ・施設の老人との交流 ・事前アンケートの実施

(2) 実習中の指導

・巡回指導

5日間の実習中に2日間の巡回。実習担当が2名で、1施設約30分程度。巡回指導の記録用紙に実習の様子を記入し、評価の参考にする。

(3) 実習後の指導

・実習報告会
・面談の実施

(4) 評価について

| | | |
|---|-----------------|-----|
| } | 施設からの評価 | 20% |
| | 実習ノート | 20% |
| | 実習反省文・実技試験・授業態度 | 20% |
| | 筆記試験 | 40% |
| | その他 | |

4 今後の課題

- ①実習施設・実習日数の確保
- ②実習施設の生徒の割り振り
- ③ケアプランの作成
- ④評価の仕方

5 まとめ

実習は生活経験の乏しい高校生にとっては厳しいこともある。しかし、素直なところ・吸収の早さなど高校生のいい面もある。実習後の生徒は達成感もあり、大きく成長している。これは社会に出たときに大きな糧となる。

また、施設との連携を密にして、利用者一人一人の心のケアができるマンパワーの育成を目指していきたい。

6 質疑応答（分科会全体での意見交換である）

Q：実習中のタクシー代はいくらか。

A：実験実習費（県費）から約200万円。

Q：感染症対策には保険に入るしか手だてがないのか。

A：以前は全く考えていなかったが、生徒の感染が疑われたためそれ以降は保険に入った。

Q：胸部X線が一人3000円かかる。もっと安くできる方法はないか。

A：学校に入札で実施している業者では680円位でできた。

Q：実習施設の確保の対策は。

A：新しい施設を開拓するより他はない。

テーマ（2）福祉介護系列における校外実習の現状と課題

発表者 福島県立光南高等学校

教諭 吉田 さとみ

1 本校の概要

平成8年、福島県立矢吹高等学校が閉校、県内初の総合学科として新たに開校した。2年次から8系列に分かれる。福祉介護系列は社会福祉に関する知識・技能の習得を目的とする。入学時に介護福祉士の資格を取りたい生徒が約4割弱いる。施設や設備の関係もあり、科目調査の段階でベッドが8床であるために最大40名（1割程度）までにする。

福祉介護系列選択者数

| | | | | | |
|-------|----|---|-----|---|-----|
| 2年次：男 | 7名 | 女 | 29名 | 計 | 36名 |
| 3年次：男 | 5名 | 女 | 19名 | 計 | 24名 |

2 福祉介護系列のカリキュラム

校外実習は「社会福祉実習」の一環として行う。福祉教育入門としての「ボランティア」や教養科目としての「手話・点字タイプ」の授業がある。また、医師などに非常勤講師として来てもらう。

3 校外実習の現状

（1）位置づけ

| | | |
|-----------------|------|---------------------------|
| ホームヘルプサービス同行訪問 | 2日間 | 2年生、社会福祉協議会で実施。6～9月に3人ずつ。 |
| デ イ サ ー ビ ス 実 習 | 5日間 | 2年生、7/24～7/28。1施設8名。 |
| 第 1 期 施 設 実 習 | 10日間 | 2年生、1/15～1/26までの中の10日間。 |
| 第 2 期 施 設 実 習 | 15日間 | 3年生、6/19～7/10までの中の15日間。 |

（2）実習施設及び関係機関

矢吹町内：知的障害者更生施設、特別養護老人ホーム、救護施設、社会福祉協議会 等
近隣の市町村：特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、介護老人保健施設 等

（3）実習先の決定

生徒の希望を取り、その後に調整する。

（4）実習費

施設実習：2年生、3年生 それぞれ5000円ずつ（実習費として徴収）

他の実習：施設や機関には払わない

4 今後の課題

- ①校内実習と校外実習の内容の整合性
- ②校外実習の事前打ち合わせの充実
- ③実習受入先の確保
- ④他校や換券機関との連携
- ⑤人的資源の活用

5 質疑応答

Q：福祉系列の希望者が多いが、生徒の絞り込みに対する保護者の苦情はないか。

A：校内での実習の場合に、実際には10数名での実習となり、生徒からの苦情もある。

Q：福祉の勉強を初めて間がない段階での校外での実習に対する指導は。

A：デイサービスの実習の直前にデイサービスの事前指導を集中して行う。

Q：本校では施設実習に際して検便は実施していないが、している学校は多いのか。

A：7校（出席者の挙手による）。

Q：生徒が感染した場合の学校側の責任は。

A：今後校長会で検討をする。

指導講評

兵庫県教育委員会高校教育課主任指導主事兼指導第2係長

和田清美先生

わかりやすく2校から説明してもらった。兵庫県では来年7校が総合学科となる。将来的には20校程度にしたい。総合学科の中では介護福祉士を目指すことは考えていない。ホームヘルパー養成や卒業後の進路を考えての総合学科である。発表のまとめとしていくつかを挙げる。

- ・生徒が目標をきちんとつかんで学習に取り組んでいる。
- ・施設に評価を頼むのであるから、学校としての希望をしっかりと施設に伝える必要がある。
- ・施設実習には早い段階に依頼に行く必要がある。
- ・学校のPRは、公立私立に関わらず積極的に行う。
- ・学級崩壊は高校でもある。学校にも責任がないとは言えない。教師の魅力ある授業が大切。
- ・先生方一人一人の自信を持った授業が生徒に影響を与える。

記録 村元 研二（滋賀県立長浜高）

主任等の部会・研究協議会

分科会③ 資格取得

平成 12 年 11 月 1 日 (木) 14:10 ~ 17:00

神戸市総合教育センター 702 号室

司 会 池 田 延 己 (北海道函館大妻高等学校)

加賀谷 恵 子 (富山県立砺波女子高等学校)

テーマ (1) 介護福祉士国家試験対策について

発表者 埼玉県立不動岡誠和高等学校

教諭 安 松 耕 司

1 本校の概要

平成 3 年福祉科 1 クラスが創設され、平成 12 年度 2 クラス編成となり、ボランティア活動も活発である。平成 12 年度社会福祉科運営について、社会福祉科年間計画、平成 12 年度教育課程表、福祉に関する科目のテキスト等の資料に基づいて説明をする。

問題として、実習先の確保や、高い教材費等がある。

2 資格取得への取り組み

中学生に福祉に関する情報を伝え、目的意識をもった生徒に入学してもらい、入学の段階から福祉に関する意識づけをしている。そして、授業、老人ホーム等での実習を通しての介護に関する専門的な学習をすることによって、生徒は資格取得への意欲を高めている。また、教員は生徒が社会福祉から離れず、介護福祉士をあきらめないように指導している。

具体的な対策としては以下の通りである。

(1) 毎朝 S H R で小テスト(2 年次より)1 問を実施、学期末に 14 科目を模擬テストとして実施

(2) 模擬試験実施

① 2 年次 2 回 9 月、11 月に実施(福祉教育カレッジ)

② 3 年次 5 回 7 月、9 月、10 月、11 月に実施(中央法規、福祉教育カレッジ、東京アカデミー)

(3) 課外授業

① 夏休み(1 週間) ② 10 月下旬より 12 月まで(50 分程度)

③ 冬休み(2 日程度)

(4) 実技対策

1 次試験終了後、家庭学習期間(2 月)に登校日させて実技模擬試験実施

(5) 試験直後に、答案復元並びに試験対策の報告書(自己反省等)を提出させる。

まじめで、おとなしい生徒が声かけ等ができていない傾向にある。

3 質疑応答

Q: 模擬試験の代金等について (川崎高)

A: 経済的な負担は大きいですが、できるだけ数多く受験させている。(不動岡誠和高)

Q: 2 次試験対策はどのようにしているのか。
(中村女子高)

A: 試験会場と同じように設定し実施。その時期学校では入試事務(2 月)と重なり登校できない日があるので、早くから考えている。学校では生徒同士ペアを組んでいるので緊張感がない。

(不動岡誠和高)

A：本校では以下のように実施している。
・1次合格後すぐに実施、8時50分に登校、5時に下校。順序だてて指導。
・校外で実技試験のみ実施している機会を利用させる。
・どこが理解できていないか指導し、実技についての情報を交換していく。

(川崎高)

A：本年度は合格率が低下した。県により基準が違ったのではないのか。本校は、自立援助、安全確保、声掛けに重点を置いてきた。

(光星学院高)

A：審査員は講習を受け基準を決めている。どれだけ問題を読みこんでいるのか、どうやれば気づきを覚えさせられるか。基礎基本をしっかり指導することが大切であり、問題の傾向は変わらないので過去問をしっかり学習することが必要である。
・ベッド、車椅子、衣服の着脱、ポータ

ブルトイレ等を見なおし、それぞれの組み合わせを考えた問題となる。

・挨拶、ユニフォーム、言葉遣い等はあまり評価されない。

(函館大妻高)

Q：家庭一般が専門科目に入るのか。(妻高)

A：厚生省より示されている専門科目38単位として書くのは書き方を変える必要がある。

(磐田北高)

A：厚生省より年内に必要な単位が発表される。おそらく32～34単位となる。

平成14年度より学校週5日制となるので文部省は32単位で提出することが予想されるが、NHK学園では33単位であるので34単位となる可能性がある。

(函館大妻高)

4 その他(国試対策)

- (1) 過去問題を繰り返し練習させる
- (2) 国民福祉の動向を熟読する

テーマ (2) 資格取得への取り組み

発表者 愛媛県立北条高等学校

教諭 福山 睦枝

1. 本校の概要

平成5年生活福祉科が新設され、平成8年総合学科が設置された。(生活福祉科は生活福祉系列として総合学科に吸収された)

総合学科は生徒の能力・適性・関心に応じて、生徒自らが進路目標をたて、必要な科目(140科目)を選択するなど個性を重視した学科である。

2 生活福祉系列の概要

- (1) 6月に科目選択説明会をもち「ガイドブック」をもとに「科目履修希望調査用紙」に記入させ、7月に集計する。生活福祉系列希望者が多いことが予想されるので、調査期間中に希望者を集めて学習内容や介護職の業務内容、資格、進路等について再度詳細に説明を行う。生活福祉系列の2年生が、現場実習や授業を受けて自分に向かないと判断した場合、3年次から他の系列の科目を選択することができる。
- (2) 社会福祉実習は、2年次で2単位、3年次で4単位実施している。2年生は10月に10日間、3年生で6月に10日、11月に10日実施しているが、時間割の中では組み込んでおらず、振り替え時間割とし、季節により変わる。
- (3) 課題研究については全員原則履修となっている。総合学科では、資格取得を全面に打ち出せない。1時間を「よりよい介護技術の研究」にあてている(2次試験対策)。
- (4) 進路状況については老人福祉施設については少なく、求人状況が一般求人と少し異なっている。老人保健施設・病院が多くなっている。

3 資格取得への取り組み及び問題点

(1) 介護福祉士

< 1次試験に向けて >

① 長期休業中の補習（1日3時間）、社会福祉演習

過去問題に取り組み、正誤の根拠を発表させ、補足説明やそれに関連する講義を行う。

② 科目別問題

12月中旬から受験科目別の5択テスト（40問）を行う。

③ リハビリテーション論（外部講師）の講義

2年次「社会福祉援助技術」の中のリハビリテーション論（20時間）は病院の理学療法士を招聘しているが、ご好意で国家試験直前に2時間、ポイントを押さえた指導をいただいている。

< 2次試験に向けて >

① 課題研究

2単位のうち、1単位を『よりよい介護技術の研究』というテーマで実施している。毎回いろいろな場面を設定し、2人1組で利用者にとって安全で安楽な介護方法を考えさせ、実習させている。

② 2月からの家庭学習期間中の課外指導

本校においては、介護技術を復習し徹底する。過去の実技問題や予想される問題を実習させ、指導する。

近隣の特別養護老人ホーム（現場実習先のひとつ）で生活指導員が予想問題を作成し、国家試験のシュミレーション及びその指導をしてもらう。その際、介護福祉士と看護婦の資格をもつ職員が細かくチェックし、指導する。

生徒はふだん接していない専門家の下で、緊張感を持って臨むことができる。

③ 増加単位ボランティア

長期休業中や土・日に施設実習を行うことにより、介護・コミュニケーション技術を磨く。「社会福祉実習」の現場実習に見合う内容で、施設職員の指導のもとで行い、実習ノートに記録もとる。6時間×5日行けば「社会福祉実習」1単位が増加される。年間2単位を限度に実施しているが希望者が少ないのが現状である。

< 問題点 >

① 本校総合学科の場合、2年間で知識・技術を習得しなければならないため、生徒の負担が大きい。

② 1次試験の出題範囲が広いため、授業だけでは対応できない。生徒が自主的に学習する必要があるが、3年次のこの時期になっても家庭学習ができていない生徒が多い。

③ 今回から2次試験の基準が変わり、考えさせる項目が多くなり、今後もこの傾向は強くなるだろうということである。また、時間超過でも見込み点があったが、それもなくなり、高校生にとって不利な要素が増えている。

(2) ホームヘルパー2級

本校では総合学科1期生より生活福祉系列の生徒全員を対象に、ホームヘルパー2級の養成研修事業を実施している。期間は2年次4月から3年次9月までである。

< 研修カリキュラム >

ア 「Ⅰ 講義」(58時間)及び「Ⅱ 実技講習」(42時間)

平常の9科目の授業内容に組み込んでいる。

今年から、民間の在宅サービス提供事業所に勤務している本校卒業生を招聘し、「在宅介護の役割」について具体的な訪問介護の事例をあげて、講義をしてもらう予定である。

イ 「Ⅱ 実習」(30時間)

- ① 「(1) 介護実習」(16時間)と「(3) 在宅サービス提供現場見学」(6時間)は「社会福祉実習」の現場実習で実施できる。
- ② 「(2) ホームヘルプサービス同行訪問」(4時間×2日)は北条市社会福祉協議会の協力を得て、2年次の2学期に実施している。1人のヘルパーに生徒2人が同行する。
 - ・事前指導……………実施要項、心得の資料をもとに指導する。
 - ・見学記録……………実習日誌、生活援助記録、同行訪問体験表に記録させる。

<問題点>

- ① 同行訪問実習では実習内容に生徒間で格差がある。
- ② 入浴や清拭などプライバシーに深く関わる部分は、見学させてもらえない。
- ③ 今年から移動手段はタクシーなので、生徒の経済的負担が大きい。
- ④ 家事援助力が不足している生徒が多い。指導方法の工夫と、技術定着の徹底を図る必要がある。

4 おわりに

資格取得者は就職に有利であるが、介護保険の導入で、より質の高いサービスが求められている。資格に見合う知識・技術を身につけ、人間的にも成長した上で活躍できる生徒を送り出せるように研鑽を重ねていきたい。

5 質疑応答

Q：訪問介護員研修について

講師や実習の方法、チーム運営方式等、従来より厳しくなっているが、他府県ではどうか。(大垣桜高)

A：現在2年目であるが、日々苦慮しながらやっている。(阿蘇清峰高)

A：府県により方法が異なっているが、生徒

にかなり負担がかかっている。(川崎高)

A：高校の先生の指導だけではできない。各方面の人々に訪問介護養成に協力してもらい、講師の先生を確保していくことが必要である。魚のさばき方、ご飯の炊き方等も実施。(函館大妻高)

—指導講評—

奈良県教育委員会学校教育課高等学校係長

三浦美智子先生

福祉科、総合学科の生活福祉系列の発表があったが、資格取得面で厳しいところがある。中学生にどれだけ魅力ある内容か、それは進路や資格取得と関わっている。過去問を分析するとともに基礎基本をもとに 응용していくことが大切である。総合的な学科においては、多様な段階で進路指導が行われており、多様な生徒を支援していく方法であり、今後も必要なことである。

資格取得のみでなく、質の高い介護ができるように、福祉マインドを育てる必要がある。今後益々期待されていくところであるので、どんな生徒を育てていくのか考えてほしい。

記録 松本 美幸(奈良県立榛原高)
岩本 恵美(奈良県立榛原高)

実技試験を終えて

3年4組 番氏名

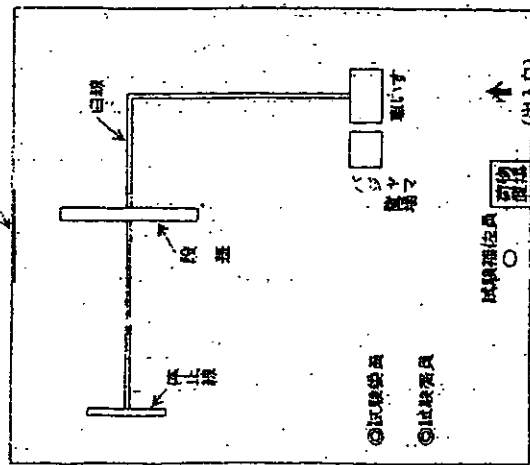
第12回 2次試験実技問題

佐藤はるさん(75歳)は、右上下肢に麻痺がありますが、介護者が支えれば、立つことができます。また、相手の言うことは理解できます。

佐藤さんは今、入浴を終え、脱衣所にいます。肌着をつけた状態で車いすに座っていますので、かぶり型バシヤマの上下の着用を介助して下さい。その後、白線にそって車いすで部屋の前(停止線)まで連れて行って下さい。

なお、途中に段差があります。

(試験時間は5分間です)



(注) 試験室の出入口、試験委員等の位置は
見取図と異なる場合があります。

実技試験をやってみての反省・感想

到達度
どこまでできたか

声かけ

モデルとの接し方(モデルの態度)

試験官の印象

自分の予想!?
かんべき ☺ まあまあ ☹ ぶるう ☹

課外(2次対策)に望むこと(先生達への要望)

後輩へのアドバイス

主任等の部会・研究協議会

分科会④ 進路指導

平成 12 年 11 月 1 日 (木) 14:10 ~ 17:00

神戸市総合教育センター 603 号室

司 会 五十嵐 武 (岡山県ベル学園高等学校)

池 永 佳 子 (新潟県立高田北城高等学校)

テーマ (1) 本校の進路指導の現状について

発表者 鹿児島県加治木女子高等学校

教諭 島 村 健 二

はじめに

21世紀には高齢者社会がますます進行し、老人や心身の障害をもった方々に対する福祉の問題はますます重要かつ深刻になっていく。本校ではこのような社会情勢の変化に対応した特色ある学校づくりを目指し、平成3年4月医療福祉科を設置した。平成11年普通科を募集停止にし、1学級増やし、現在は80名定員になっている。これにともない、就職問題や、実習施設の問題が今までよりも深刻になり、早めの取り組みが必要になってきた。

1 資格取得

ホームヘルパー1・2級、初級手話、介護アテンドサービス士、介護福祉士国家試験受験資格

2 医療福祉科の現況

平成8年推薦入学制度を採用した。スポーツ特待では毎年定員の約30%をとる。残りは一般入試でとる。

卒業後の進路状況は、病院の介護職が多い。衛生看護科の病院奨学生制度での委託先病院の併設施設に医療福祉科の生徒も就職している。

介護福祉士国家試験合格状況は7割程度をこえている。

3 医療福祉科の教育課程

資格のための手話4単位が特徴である。

4 医療福祉科の目標

やる気のある生徒、体力だけでなく優しさをもった介護福祉のプロを養成する。介護福祉士国家試験に全員合格させる。ホームヘルパー、介護アテンドサービス士、初級手話などの資格は全員にとらせる。ケアプランが立てられるようにする。

5 対策

(1) 部活動の推進

(2) ボランティア活動の推進

(3) 国家試験対策

① 自宅学習

専門教科の自宅学習重視

② 朝 自 習

生徒が作成した課題での、朝の10分間自習

- ③補習 20～25分間の放課後補習、夏休み・冬休みの補習
- ④個別指導 全国模試70点以下の生徒対象の個別指導

6 平成12年度進路指導部の目標

(1) 指導重点方針

- ①指導目標実現のための実力養成（漢字テスト、英単語テスト、計算テスト、専門テスト）
- ②早期の進路指導への取り組み

7 医療福祉科の進路指導について

(1) 進路指導の計画

- ①クレペリンテスト
- ②地区PTAで保護者面談
- ③進路希望調査
- ④進路情報の提供
- ⑤模擬面接
- ⑥職場訪問
- ⑦面接指導、作文指導
- ⑧医療福祉科1・2・3年生合同LHR

(2) 就職対策

- ①ボランティア活動の推進
- ②積極的な職場開拓訪問
- ③早期スタート

(3) 進学対策

- ①短大・大学推薦枠の拡大
- ②早めの指導

(4) 取り組み

- ①わかりやすい授業研究
- ②学力向上
- ③礼儀作法の徹底

(5) 進路指導の問題点

- ①進路指導のできる福祉科教員の養成・研修の充実
- ②介護福祉士国家試験一次試験不合格者の病院委託奨学生解約の件
- ③就職先や実習施設の確保
- ④中途補充採用

8 おわりに

1年生は学校に慣れることを重点にしている。2年生では、服装面、行儀面、言葉遣い、あいさつなどについて、施設実習の事前学習を徹底している。3年生は国家試験合格を重点的に指導しているが、国家試験に合格するだけでなく、優しさや思いやりを身に付けた立派な介護福祉のプロを養成していかなければならないと思っている。

9 質疑応答

Q：病院委託奨学生について詳しくお聞きしたい。（ベル学園高）

A：病院と、衛生看護科へ入学した生徒・保護者で取りかわす契約である。授業料・経費を病院が負担する。3年間奨学生であった

場合は、3年間働かなければならないので、しばられるという悪い面もある。8割が病院奨学生で、残りの2割が自費生である。ただし、退学すると退学した時点で契約が解除となりその時点で費用は返さなければ

ならない。 (加治木女子高)

Q：医療福祉科の制度ではないということか。
(ベル学園高)

A：医療福祉科も毎年10～13名いる。病院の併設である老人保健施設や特養などに行く。
(加治木女子高)

Q：福祉科が来年度より1学級増で2学級になるが、進学コースと就職コースに分けた方がいいか。また国家試験を受ける生徒が進

学を目指す場合、普通科に比べると不利にならないか。
(野津高)

A：進学コースと就職コースに分ける必要はないと思う。個別に受験科目の指導を受けているので対応できる。もう一点は、早めに志望校を決めれば、受験科目が明らかになり、推薦入試の場合の作文や面接の指導が早めのできるので問題ない。

(加治木女子高)

テーマ (2) 「進路指導について—職業高における進路指導について—」

発表者 三重県立上野商業高等学校

教諭 冨井 恵子

はじめに

三重県は本州真ん中あたりに所属し、南北に非常に長い。伊賀という土地はどちらかといえば近畿圏に近い。上野市は人口約6万人の昔からの城下町である。

1 学校沿革

昭和8年に上野商業高等学校ができた。その後工業と一緒に上野商工高等学校を経て、39年度に商業に関する学科と家庭に関する学科を持つ学校となる。平成元年頃、上野市高齢化率は17.3%と高くなる中で福祉を担う人材の養成の要望があったこともあり、福祉科設置の動きとなった。平成5年度に東海ではじめての公立の福祉科がスタートした。

2 福祉科生徒の進路先

1期生：大学2名、専門学校・高専多数

2期生：看護多数、就職者多数

5期生：就職者数が進学者数を上回る

3 進路指導計画

1年生：大学・専門学校・就職の概要把握

2年生：就職問題集や一般常識の重点指導

3年生：自分自身を知るための調査、就職や進学の流れを説明するための保護者会、病院・特養などの企業視察研修

・5つの学科があり、学年中心の進路指導の中で科の特色を出していく指導や、進路開拓等難しい面もある。

・当初より上野市社会福祉協議会の協力体制があり、進路についての道ができており、施設からの求人や、専門学校から社会福祉協議会への就職など介護職希望を十分満たしている。

・地域との関わりを大切にすることで、介護職への就職を可能にしている。例えば、学校の施設を社会福祉協議会の研修などに開放し、生徒もスタッフや企画をしながら勉強を進めている。また、OBネットワークを作り、卒業してからも地域とのつながりを持たせている。

4 今後の課題

- ①若い福祉の担い手をどう育成するか。
- ②進学を希望する生徒への対策
- ③就職先の確保

5 おわりに

福祉の流れは非常に速く変わっていく部分があり、地域との交流を進めながら、その流れに乗り遅れないようにしていかなければならない。また、在学時にホームヘルパー1級の資格をとった卒業生が、研修に行きたくても行けないなどの問題に対し、OBネットワークを作ることになった。

ー参加校の情報交換ー

福祉38単位を履修してきた知識、資格を生かして専門職としての道がひらけるようにしてやりたい。(久美浜高)

就職を希望しても、採用がないので頑張っている生徒が残念な結果になっている。福祉施設とのつきあいを教えてほしい。(牛津高)

高校を卒業して直ちに福祉施設に就職するのは非常に難しい。また、38単位の履修で5教科の力がついていない。進学に関して、どのようにしたら5教科の力がつくのか教えてほしい。(高原高)

高校生の福祉施設への就職は困難で、中途から進学に変更せざるを得ない生徒がいる。(加世田常潤高)

大半は福祉系の学習に力をいれ、進路を決定したいと思っているが、商業科の科目もあるため38単位をこえてできないので補習等で、国家試験や進路のために補っている。また、就職では年齢制限や、男子の将来性の問題での厳しさを感じる。(大分東明高)

進学の面では、福祉の38単位のために5教科の勉強ができず、必然的に志望校がしぼられ

る。また、高校生の就職は国家試験に左右されることに対して対策をとっていかねばならないと思う。(野津高)

福祉福祉と叫ばれ、福祉系の学科を新設する短大が多くでてくる。ますます就職が厳しくなるのではと心配している。就職口を開拓していく方法を教えてほしい。(山辺高)

福祉科が開設したばかりなので、就職・進学について、皆さんの情報をお聞かせ願いたい。(天理高)

病院委託奨学生とOBネットワークについては非常に関心を持った。(吾妻高)

こちらの方から売り込んでいかなければ、求人待っていても学校には来ない。たとえば生徒に特技や自己PR等を書かせ、ダイレクトメールとして施設に送っている。施設側の高校福祉科の理解も進んでいないので、高校福祉科の印象付けをはかるためにも行っている。(一戸高)

今後、福祉科に学科改変し、介護福祉士がとれるコースを作るが、どのように職場開拓をすればよいのかを聞かせてもらいたい。施設とのつながりが大切であるということがよくわかった。(世羅高)

指導講評

和歌山県教育庁学校教育課指導主事

平松光子先生

加治木高校の場合、進路指導に関して、在宅学習重視、学習の習慣化、個別指導、補習などきめ細かに取り組んでいるのが、国家試験合格率につながっていると思った。進路指導に当たっては、早期指導は大事なことである。各学年で目標を決めて、3年間を通した進路指導計画をたてるのは必要なことだ。

上野商業高校の新しく福祉科でスタートする経過を聞き、大変苦勞があったことと思う。福祉科や

福祉コースを設置・増設しようと考えている学校の先生方にとっては非常に参考になる発表であった。

全般を通して、福祉系列や、福祉科に入ってくる生徒は目的意識がはっきりしている。その目的が達成されるように3年間生徒をどう育てていくかが大事になってくる。そのためには日頃の授業展開の工夫が必要である。たとえばディスカッションやディベートなどの授業形式を入れたり、体験的な学習を数多く取り入れるなどの工夫が必要である。総合的な学習の時間が平成15年度から入ってくるので、福祉系列はこれをどのように取り入れるかということも考えていってほしい。

進路指導にあたっては、3年間を見据えた計画、ガイダンスの充実が必要になってくる。各学校の特色を考え、また個々の生徒に対応した、きめ細かい進路指導が大事である。外部講師の活用や卒業生の体験談なども、生徒の意識付け、動機付けのために、効果的である。特に新しく卒業生を出す学校は、まだ地域には浸透されていないため、学校の特徴をより一層アピールする必要がある。

今後、少子高齢化が進むので、高校生などの若い力を利用するのも必要かと思う。そのためには生徒の技術面、知識面だけでなく、人間のこころの面、福祉マインドを育てる指導も必要かと思う。

就職率が悪いのは一般的に言えることである。これからの5年10年先を見据えた福祉の学科、系列について展望を持っておくことも必要である。あわせて、どう生徒を育てていくか展望を持つのも大切である。

学校だけでなく地域や家庭、大学との連携も必要である。また、このような会に参加し、情報交換や、横のネットワーク作りも充実させていくべきである。

進路等を考える場合、日々の授業や取り組みが大事なので、基礎、基本の学力、生活面などの指導を充実させてほしい。

記録： 葛壁 律子（京都府立久美浜高）

加藤 洋美（京都府立久美浜高）

全体報告会

平成12年11月2日（木） 9:30～10:55

神戸市総合教育センター大ホール

司会 西村 義臣（愛媛県松山城南海高等学校長）

1 全国高等学校長協会家庭部会からの報告

全国高等学校長協会家庭部会

事務局長 小島 和雄

(1) 家庭部会の現状について

平成12年度加盟校2690校（昨年より33校減）福祉が独立しても家庭部会に加入して欲しい。

(2) 家庭科・保育技術検定について

福祉科、家庭専門学科、普通科で扱わなければならない。

(3) 第45回全国高等学校家庭科講習会（東京大会）について

平成13年7月23日（月）～25日（水）

講習内容：被服、食物、保育・福祉分野

(4) 五訂食品成分表を発行

540円で配布予定

2 校長部会・研究協議会の報告

愛知県立古知野高等学校長

小田 博 一

3 主任等の部会・研究協議会の報告

分科会1 授業研究

嶋田麻知代（愛知県立古知野高）

分科会2 現場実習

日吉ふく子（宮城県立村田高）

分科会3 資格取得

加賀谷恵子（富山県立砺波女子高）

分科会4 進路指導

池永 佳子（新潟県立高田北城高）

4 校長会事業報告

池田 延己（北海道函館大妻高）

(1) 校長会の事業は 1. 研究部 2. 調査統計部 3. 広報部 に分担し研究をすすめている。

(2) 全国大会主任等研究協議会分科会分担表を作成した。今後の発表については分担表に従って実施する。各地区で役割を分担し準備をしてほしい。

(3) <全国福祉科高等学校及び福祉教育実態基礎調査集計>アンケート回答校 237 校・平成8年度以降まとめている。介護福祉士国家試験受験可能校（126 校）ホームヘルパー養成研修事業実施校（310 校）福祉科目実施校（268 校）であった。

・家庭科・看護科・社会科の先生が福祉科の授業を教えていることが多い。1年目2・3年目という先生が多い。先生方の研修の必要性を感じる。

・一次試験の合格 55 %、二次試験の合格 34 %
二次試験で不合格の生徒が多い。

日本福祉会の井上先生、澤田先生の講演で聞いた方も多いと思うが、二次試験の合格率が下がったのは、特定のビデオ教材を信用しすぎていることが考えられる。何が間違っているのかを見抜く力がなければならない。1本のビデオを信じていると少しでも違う状況が設定されると混乱し、出題の意図を見抜く力が育たない。例えば、目線を合わせるということでビデオを信じて膝をついていた生徒が多い。間違っているかどうかを見抜く力をつけなければいけない。

指導者が一方的に教えるのではなく、生徒に考えさせることが大事である。

実技試験の課題は基本的な介護実習に即したテストである。ベッド介助に車椅子の組み合わせ。今までの1回から12回の組み合わせになる。問題としてはもう出尽くされている。ベッドとポータブルトイレや車椅子の組み合わせ。そこ

にどのような麻痺かが組み合わされる。試験問題を見ている5分間に何が一番大切なのかを気づかせることである。以前は服装・髪型・あいさつ等のチェックがあったが、今は介護の技術が重要視されている。今年度は右半身不随ということで、左脳に障害を持つことになる。今までのように長々とコミュニケーションをとり、了解を得ると時間が不足する。状況判断ができずコミュニケーションをとりすぎた生徒は落ち、コミュニケーションをとらなかった生徒が受かった。一般の寮母さんは毎日の中で、臨機応変に出来るが、生徒は先生が教えた通りにやる。合格率が低かったということは、先生の教え方、教師の資質にかかっている。教師自身が研修を積み重ねることが大切である。

5 事務局より報告

荒井 智子（栃木県立真岡北陵高）

・平成12年度 福祉科校長会への加入状況説明
・国家試験速報手順について

国家試験受験校も多くなったので校長会の組織で対応する。会員数によって地区で工夫をして欲しい。

・兵庫大会の報告書について

今年度は各校に2部配布する。一部は校長先生に、もう一部は福祉科担当教員に。報告書の活用をお願いしたい。

・基礎調査集計について

集計の間違いについては事務局へ連絡をお願いする。調査統計部のご苦勞を考えると、資料の有効利用を望む。

・その他

資料等の訂正は事務局へFAX（文書）で連絡を。事務局は2年間で交代する。大変お世話になった。

指導講評

平成12年11月2日(木) 11:05~11:45

神戸市総合教育センター(大ホール)

司会 藤重 豊

(山口県立久賀高等学校長)

文部省初等中等教育局職業教育課教科調査官

矢幅 清司

1 教科福祉教員養成について

現職教員等講習会—①国公立の教員等で「公民」「家庭」「看護」の高校普通免許を有する者、②福祉に関する指導経験があり一定の知識と技術を有する者、③平成15年度以降教科「福祉」を担当する予定の者、④各都道府県等の推薦がある者、という条件のもとで今年度現職教員等講習会が実施されたが、実態は受講者503名中52%が担当経験がないという結果であった。この現状から平成15年度以降、教科「福祉」を担当するに十分な教員養成なのかと疑問が残る。来年度以降の講習会の規模は流動的であるが、力量のある人材を推薦していただきたい。

資格認定試験—現職教員等講習会を受講できない先生方の救済措置として、今年度より教科「福祉」を追加した。教科に関する一次試験が30問択一式、二次試験が語句説明、小論、実技、面接となっている。受験者の3分の1から4分の1の合格率となると考えられるが、学習指導要領の7科目の範囲で出題しているため、積極的に受験するよう各学校でもPRしていただきたい。

大学における教員養成—現在、全国各地の大学等より約100校の申請があり手続きが進められている。現場の先生方と大学を出て免許を取得した先生方が、互いに協力して教科「福祉」の教育の充実に努めていただきたい。

文部省がつくった制度・政策を生きたものにするためには、現場の先生方の研修が重要なものとなる。いろいろな経験・知識をもつ先生に教えられた生徒の方が、より深みのある福祉を学べる。教員の資質向上のため、文部省後援の研修会(社会福祉教育研修講座：平成13年1月

6・7日開催)にも学校あげて送り出し、教員自らが学び続けるという姿勢を示していただきたい。

2 教育課程審議会の中間まとめについて

自己責任—生徒が自分の人生を自分なりに創っていく、そして最後に責任を取るのは自分自身であるという意味の自己責任は、生徒の興味・関心に目を奪われるのではなく、自分の人生を選択する力を生徒が身につけることである。各学校が生徒一人ひとりに自己責任の力をつけていくよう教師も自己責任を持った上で、構築化・構造化していかなければならない。

評価—結果をあまり重視せずプロセスを中心に考える、それが新しい学力観だという間違った考え方をしてはいただろうか。学びという部分と、その結果として育ちがどうであったかということ、つまり、何を学びどう育ったのかを確かめることが評価である。熱き心で、確固たる信念のもと確実な知識・技術を提供する、そんな姿勢が重要である。

3 文部省の取り組みについて

産振基準の改定—教科福祉を指導するにあたり、どのような施設・設備が必要なかの、現在ヒヤリングを行い、平成15年度に向けて新基準が改定される予定である。

教科・科目単位数の見直し—厚生省からも報告があったように教科・科目の単位数を年度内に改定する予定になっている。

できあがりつつある制度を積極的に活用し、福祉教育を各地で実践して欲しい。そのために先生方には自主的に研修を深めていただき、今後ますます校長会、教科主任会等が発展することを期待する。

<質疑応答>

福井県啓新高等学校 荻原芳昭校長

- ①現職員等講習会では、国が一次審査的なものを行い、より質の高い講習会にならないか。
- ②福祉実習においての、危機管理意識を高め、感染症に対する予防と対策についても、校長会で審議しなければならないのではないか。
- ③教員養成の大学リストをいただきたい。
- ④10年後、20年後の福祉科のあるべき姿につい

て、矢幅調査官のお考えをお伺いしたい。

埼玉県立不動岡誠和高等学校 本橋恒雄校長

⑤現職教員等講習会の在り方について、現場の実態・幅広い見地に立って認識していただきたい。

青森県立七戸高等学校 外崎留理子教諭

⑥免許制度について、大学等で取得した単位を今後免許状の資格要件として、勘案していただけるのかどうかお伺いしたい。

⑦福祉実習中における感染症等の予防についてガイドライン等を作成していただきたい。

兵庫県立日高高等学校 木山良美教諭

⑧総合的な学習の時間と社会福祉演習の関係を説明していただきたい。

文部省職業教育課 矢幅清司調査官

①現職教員等講習会は、現在担当している人たちに対する方策であるから、都道府県の教育委員会に対して、校長会から、福祉科担当者を優先的に推薦してほしい、うちの教員を枠に入れてほしいと、働きかけていただきたい。

②インターンシップの保険では、感染症関係はきかないので、衛生看護科に近い形で早急に対策をお願いしたい。事故が起きる前に対策を立てるべきである。

③わかりしだい皆様方にお届けをする。

④生涯学習の時代の中で高校福祉科を位置付けていかなければならない。衛生看護科と比較するのではなく、幅広い分野を持つ福祉は、高校段階においていつの時代も必要な科であろうと考える。

⑥社会福祉士をとった単位数とかが教員免許取得の単位に認められるのかという点については、さかのぼることはないというのが原則である。

⑦教科福祉に関する学科は平成15年度からなので、予防するための法制度は一切手がつけられていないのが現実である。要望等をまとめ、衛生看護科を一つのモデルとして具体化し、平成15年度に向けて作っていくことになるだろう。

⑧福祉に関する学科を設置している学校に関しては、総合的な学習の時間を、社会福祉演習に置きかえることができ、逆に、社会福祉演習を総合的な学習に置きかえることもできる。しかし、普通科や総合学科ではそれが適応されない。

記録 深尾 泰造（滋賀学園高）

閉会行事

平成12年11月2日（木）11:45～12:15

神戸市総合教育センター（大ホール）

司会 鷹羽 強

（滋賀県守山市立守山女子高等学校長）

1 開会の言葉

和歌山県立有田中央高等学校長 田村美代子

2 主催者あいさつ

全国福祉科高等学校長会会長 山口 祐司

この二日間、福祉教育について大変熱心に研究協議がされた。特に、昨日の講演会では、「福祉は日本の未来である」と話された。それぞれの先生方の立場で、この福祉の心を大事に育てていただきたい。続いて行われた各分科会での発表並びに研究協議では、活発な意見が出され内容が深められ大変有意義であった。来年度は、「授業研究」の分科会も取り入れられると聞いている。大いに期待していただきたい。また、分科会で出ている感染症への対策については、今後充分研究して、早急に対応したいと考えている。

矢幅調査官の指導講評の中で、「できあがりつつある制度を活かしてすばらしい福祉教育を展開していくのは、私たち校長であり、現場を担当している先生方である。」との期待を寄せられた。それぞれの学校で一層努力をし、今後ますます福祉教育が充実発展していくよう精進していきたいと考える。

3 次回主管校あいさつ

岩手県立一関第二高等学校長 瀬川 孝三

来年度開催期日は、平成13年10月25・26日で、その前日24日に理事会、学科主任等の代表者会議を予定している。大会成功に向けて、早速、県内、東北地区の皆様との連携を深めていきたい。

4 主管校あいさつ

兵庫県立新宮高等学校長 鈴木 英雄

5 閉会の言葉

和歌山県立有田中央高等学校長 田村美代子

記録 小島 慎司（滋賀学園高）

兵庫大会を終えて

主管校 兵庫県立新宮高等学校
校長 鈴木 英雄

本大会は、ミレニアムの祈念すべき年、また介護保険制度がスタートした福祉元年とも呼ばれる年に開かれ、教科「福祉」の現職教員免許取得講習も開かれる中で、正直言って大変忙しい状況下での大会であった。

近畿地区だけ理事が昨年一年間で交代し、急に理事となり、主管校を担当しなければならなくなった。そこで何回か近畿地区の校長及び学科主任等が会合して、①近畿の関係校全体の協力のもとで実施する。②内容は充実させるが、できるだけ質素に行う。この二つの条件を確認して大会に取り組んだ。

①については、旧理事校である兵庫県立日高等学校と常に相談しながら、科以外にコース設置校にも協力していただいたが、どうしても主管校の学科主任に最後は仕事がまわってきて講習会の講師、本校の社会福祉実習とも重なり印刷物のミス等があったことをお詫びしたい。

②については神戸市立六甲アイランド高等学校のお世話で神戸市教育委員会に後援していただき、無料で立派な会場を使わせていただいた。また、主任等の分科会の充実を図り、素晴らしい発表のもとに熱心な討論ができ、助言者よりの確なご指導をいただいたことに感謝申しあげたい。

大会終了後、校長と主任が別々に集まり、簡単な反省会は持ったが、正式には会計処理の終る一月に総括をするので、今のところは、はたして初期の目的が達成できたかどうか不安一杯である。今までに岡山大会以外参加したことがなく、看護の大会とは少し違ったやり方なのでわからないことが多く、事務局をはじめとして全国の理事の先生方には、いろいろとお教えいただきながら、ご迷惑をおかけしてしまい申し訳なく思っている。お許し願いたい。

終わりに文部省、厚生省、全国高校長協会家庭部会、同事務局、福祉科校長会、兵庫県教委等の関係の皆様へ厚くお礼申し上げます。

主管校の学科主任として

兵庫県立新宮高等学校
福祉科 長森 順子

この度は「兵庫大会」を無事終えることができ、感慨深いものがある。日が経つにつれ、しみじみとそれを感じている。

本大会の開催にあたっては、1年前から近畿地区福祉科高等学校長会加盟校並びに参加協力校との大会運営についての会議を重ねてきた中で、主管校の主任として、仕事の把握と大会運営充実を図るべく模索が続いた。その中で目指してきたものは、何か心に残る有意義な時を過ごしていただける内容にすることであった。その試みとして、関西福祉大学学部長の講演と主任等研究協議会においてテーマ別分科会の検討を行って来た。どのような結果となるか心配もあったが、実施へ向けて動くことに決まった。日々、頭の片隅には大会のことがあったが、実際に各分担領域が活発に動きだしたのは夏を過ぎてからとなった。慌ただしさが増し、次々にこなさなければならない現実があった。

大会前日並びに大会当日は、月並みな表現だがあつという間に終わってしまった。自分の意識とは別に時間が過ぎていくような、じっと落ちていて全体の流れを見るという精神的なゆとりは持てなかった。だが、200名を超える先生方の熱気を大ホールで、また、各分科会の会場で熱の入った各発表等の様子を垣間見ることができ、きっと何かしら新しい発見があったのではと願いたい。

あいにく台風の影響で、閉会行事が始まる頃には兵庫県南部に大雨・洪水等の注意報が発表され、天候には恵まれなかったが、来賓の先生方をはじめ、全国より多くの先生方に参加いただき大会を終了し安堵した。

最後に、全国福祉科高等学校長会事務局並びに近畿地区の加盟校、参加協力校の各主任の先生方には大いなる力をいただき協力体制が確立していったことに深く感謝したい。今回の反省をしっかりとおこない、次期主管校の岩手県立一関第二高等学校へ引き継ぎをしたいと考えている。

全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会規約

平成 7 年 10 月 12 日 施行

平成 10 年 7 月 23 日 改正

平成 11 年 10 月 21 日 改正

(総 則)

第 1 条 本会は全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会と称する。

第 2 条 本会は全国高等学校長協会家庭部会の研究協議機関として、福祉科教育の振興を図ることを目的とする。

(組 織)

第 3 条 本会は全国の福祉科（福祉科に準ずる）を置く高等学校の校長で組織する。

第 4 条 本会は次の地区を設ける。

1、北海道地区

6、近畿地区

2、東北地区

7、中国地区

3、関東地区

8、四国地区

4、北信越地区

9、九州地区

5、東海地区

(事 業)

第 5 条 本会の目的を達成するために年 1 回の総会・研究協議会を開催するほか、研究活動、広報活動等を行い、また学科主任の連絡、情報交換、研究協議等の事業を行う。

(役 員)

第 6 条 前条の事業を行うために本会の次の役員を置く。

1、会長

1 名

3、理事

各地区 1 名

2、副会長

1 名

4、監事

2 名

第 7 条 役員は理事会を構成し、本会の企画・運営に当たる。

第 8 条 役員を選出方法は次のとおりとする。

1、理事は各地区ごとに総会で選出する。

2、会長は理事の互選とする。

3、監事は会長が委嘱する。

4、副会長は会長が委嘱し理事を兼ねることができる。

5、会長所属地区からは、新たに理事を選出できる。

第 9 条 役員任期は 2 年とする。但し再任は妨げない。

第 10 条 本会の事務局は会長高等学校に置く。

(会 計)

第 11 条 本会の経費は会員の会費で支弁する。

会費は年額 5,000 円とする。

(付 則)

第 12 条 この規約は平成 7 年 10 月 12 日から施行する。

全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会役員

| 役 職 | 地 区 | 氏 名 | 学 校 名 | 都道府県名 |
|-------|-------|---------|---------------|---------|
| 会 長 | | 山 口 祐 司 | 栃木県立真岡北陵高等学校 | 栃 木 県 |
| 副 会 長 | | 本 橋 恒 雄 | 埼玉県立不動岡誠和高等学校 | 埼 玉 県 |
| 理 事 | 北 海 道 | 外 山 茂 樹 | 函館大妻高等学校 | 北 海 道 |
| 理 事 | 東 北 | 瀬 川 孝 三 | 岩手県立一関第二高等学校 | 岩 手 県 |
| 理 事 | 関 東 | 佐々木 重 昭 | 神奈川県立高浜高等学校 | 神 奈 川 県 |
| 理 事 | 北 信 越 | 澤 田 欣 郎 | 富山県立砺波女子高等学校 | 富 山 県 |
| 理 事 | 東 海 | 小 田 博 一 | 愛知県立古知野高等学校 | 愛 知 県 |
| 理 事 | 近 畿 | 鈴 木 英 雄 | 兵庫県立新宮高等学校 | 兵 庫 県 |
| 理 事 | 中 国 | 藤 重 豊 | 山口県立久賀高等学校 | 山 口 県 |
| 理 事 | 四 国 | 西 村 義 臣 | 松山城南高等学校 | 愛 媛 県 |
| 理 事 | 九 州 | 桐 原 祥 二 | 加治木女子高等学校 | 鹿 児 島 県 |
| 監 事 | 関 東 | 東 勲 | 群馬県立吾妻高等学校 | 群 馬 県 |
| 監 事 | 関 東 | 立 入 輝 夫 | 栃木県立塩谷高等学校 | 栃 木 県 |

全国高等学校長協会家庭部会

福祉科高等学校長会並びに学科主任等研究協議会会場地区一覧表

| ブロック 回・年度 | | 北 海 道 東 北 | 関 東 北 信 越 | 東 海 近 畿 | 中 国 四 国 | 九 州 |
|--------------|--------|------------------|-----------------|----------------|----------------|-----------------|
| 1 | 平成7年度 | | | 東海(静岡) 三島高校 | | |
| 2 | 平成8年度 | 北海道 釧路星園高 | | | | |
| 3 | 平成9年度 | | 北信越(福井) 大野東高 | | | |
| 4 | 平成10年度 | | | | | 九州(宮崎) 門川農業高 |
| 5 | 平成11年度 | | | | 中国(岡山) ベル学園 | |
| 6 | 平成12年度 | | | 近畿(兵庫) 新宮高 | | |
| 7 | 平成13年度 | 東北(岩手) (一関第二) | | | | |
| 8 | 平成14年度 | | 関 東 () | | | |
| 9 | 平成15年度 | | | | | 九 州 () |

平成12年度 全国高等学校校長協会家庭部会福祉科校長学校長会
学科主任代表者会

組 織

| ブロック | 氏 名 | 公私 | 学 校 名 住 所 | T E L F A X |
|--------------|---------|----|---------------------------------|------------------------------|
| 北 海 道 | 池 田 延 己 | 私 | 函館大妻高等学校 北海道函館市柳町 14-23 | 0138-52-1890 0138-52-1892 |
| | 岡 嶋 弘 実 | 道 | 置戸高等学校 北海道常呂郡置戸町字置戸 256-8 | 0157-52-3236 0157-52-3263 |
| 東 北 | 高 橋 恵里香 | 県 | 一関第二高等学校 岩手県一関市赤荻字野中 23 | 0191-25-2241 0191-25-5432 |
| | 日 吉 ふく子 | 県 | 村田高等学校 宮城県柴田郡村田町村田金谷 1 | 0224-83-2275 0224-83-2276 |
| 関 東 | 荒 井 智 子 | 県 | 真岡北陵高等学校 栃木県真岡市下籠谷町 396 | 0285-82-3415 0285-83-4634 |
| 北 信 越 | 加賀谷 恵 子 | 県 | 砺波女子高等学校 富山県小矢部市清水 95-1 | 0776-61-2040 0776-61-8255 |
| | 池 永 佳 子 | 県 | 高田北城高等学校 新潟県上越市北城町 2-8-1 | 0255-22-1164 0255-26-1579 |
| 東 海 | 嶋 田 麻知代 | 県 | 古知野高等学校 愛知県江南市古知野町高瀬 1 | 0587-56-2508 0587-53-0989 |
| | 松 永 光 司 | 県 | 吉田高等学校 静岡県榛原郡吉田町片岡 2130 | 0548-32-1241 0548-32-7831 |
| 近 畿 | 長 森 順 子 | 県 | 新宮高等学校 兵庫県揖保郡新宮町新宮 27-1 | 0791-75-0018 0791-75-2549 |
| 中 国 | 五十嵐 武 | 私 | ベル学園高等学校 岡山県岡山市下伊福西町 7-38 | 086-252-2101 086-253-0582 |
| | 山 本 泰 史 | 県 | 久賀高等学校 山口県大島郡久賀町 4851 | 08207-2-0024 08207-2-0096 |
| 四 国 | 中 田 千栄子 | 私 | 松山城南高等学校 愛媛県松山市北久米町 815 | 089-976-4343 089-976-4348 |
| 九 州 | 島 村 健 二 | 私 | 加治木女子高等学校 鹿児島県始良郡加治木町木田 5348 | 0995-63-3001 0995-63-3002 |
| 関 東 (事務局) | 荒 井 智 子 | 県 | 真岡北陵高等学校 栃木県真岡市下籠谷町 396 | 0285-82-3415 0285-83-4634 |

全国大会主任等研究協議会分科会分担表

全国高等学校長協会家庭部会

| ブロック 回・年度 | | 北海道 | 東北 | 関東 | 北信越 | 東海 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 |
|--------------|---------|-------|--------------|-----------------------|-------|--------|--------|------------|------|---------|
| 1 | 平成 7 年 | | | 松戸矢切高 | 田鶴浜高 | 三島高 | | 岡山女子高 | | |
| 2 | 平成 8 年 | 釧路星園高 | 一戸高 東奥学園高 | | | | | | | |
| 3 | 平成 9 年 | | | 松戸矢切高 高浜高 | 金沢伏見高 | | | 久賀高 美作高 | | 杉山女子高 |
| 4 | 平成 10 年 | | | 真岡北陵高 八千代高 | | 静岡女子高 | | | | 陽明高 |
| 5 | 平成 11 年 | | 山辺高 | 御宿高 | | 高浜高 | 福知山淑徳高 | | | |
| 6 | 平成 12 年 | | ①七戸高 ②光南高 | ②古河第二高 ③不動岡誠和 高 | | ④上野商業高 | ①日高高 | | ③北条高 | ④加治木女子高 |
| 7 | 平成 13 年 | ② | ① | | ③ | ④ | | | | |
| 8 | 平成 14 年 | | | ① | | | ② | ③ | | ④ |
| 9 | 平成 15 年 | ④ | ③ | | ② | | | | ① | ① 又は |
| 10 | 平成 16 年 | | | | | | | | | |

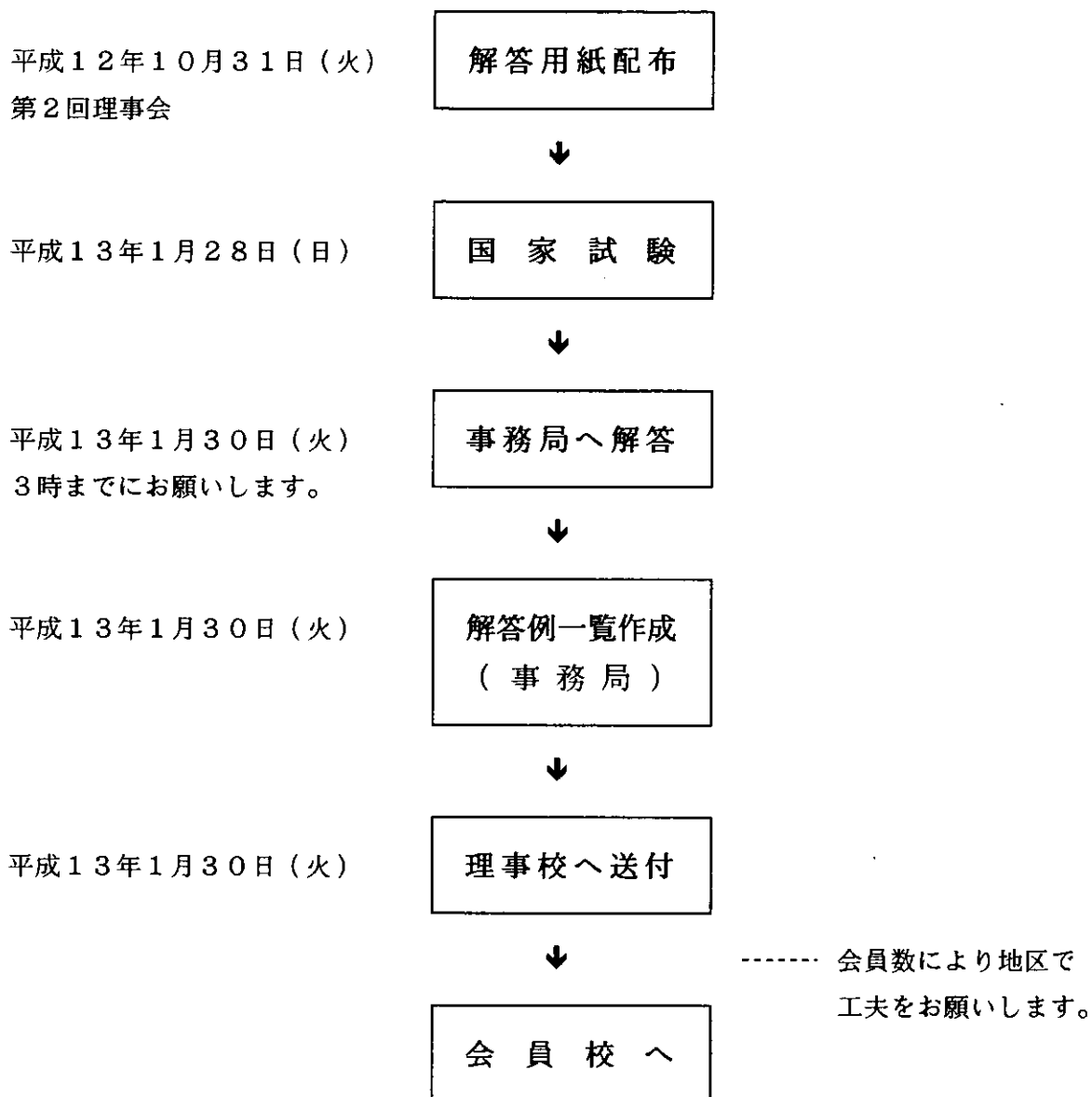
※・分科会テーマは次の4つとする。

①授業研究 ②現場実習 ③資格取得 ④進路指導

・①主管ブロックが担当する。

・分科会テーマは継続性を有するものとする。

国試解答速報手順



平成12年度 全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長加盟校一覧

平成12年9月11日現在(○は今大会参加校)

| 都道府県名 | No. | | 学 校 名 〒 住 所 | 学 科 名 | 校 長 名 学校TEL | 学科主任名 学校FAX |
|-------|-----|---|--|--------|-----------------------|-----------------------|
| 北海道 | ① | 私 | 函館大妻高等学校 〒040-0002 函館市柳町14-23 | 福 祉 科 | 外山 茂樹 0138-52-1890 | 野村 久子 0138-52-1892 |
| | ② | 村 | 留寿都高等学校 〒048-1731 虻田郡留寿都村字留寿都179-1 | 農業福祉科 | 長 祐弘 0136-46-3376 | 島村 真幸 0136-46-3386 |
| | ③ | 道 | 置戸高等学校 〒099-1112 常呂郡置戸町置戸256-8 | 生活福祉科 | 佐藤 徳崇 0157-52-3263 | 岡嶋 弘実 0157-52-3263 |
| | ④ | 市 | 釧路星園高等学校 〒085-0806 釧路市武佐4-28-10 | 教養福祉科 | 鈴木 信義 0154-46-1538 | 荒川 公子 0154-46-1941 |
| | 5 | 町 | 剣淵高等学校 〒098-0323 上川郡剣淵町栄町6215 | 農業・生活科 | 畑 満 016534-2549 | 高橋 真一 016534-2694 |
| 青 森 | 6 | 私 | 東奥学園高等学校 〒030-0821 青森市中央2丁目15-17 | 福 祉 科 | 高橋福太郎 0177-77-2760 | 田中 泰恵 0177-75-8375 |
| | ⑦ | 私 | 光星学院高等学校 〒031-8507 八戸市湊高台6丁目14-5 | 保育福祉科 | 佐藤 孝夫 0178-33-4151 | 一戸 淑子 0178-31-6287 |
| | ⑧ | 県 | 七戸高等学校 〒039-2516 上北郡七戸町字館野47-31 | 総合学科 | 佐藤 勝美 0176-62-4111 | ————— 0176-62-4112 |
| 岩 手 | ⑨ | 県 | 西和賀高等学校 〒029-5503 和賀郡湯田町湯田19地割25-2 | 普 通 科 | 米澤 俊英 0197-84-2809 | 近藤 健一 0197-84-2844 |
| | ⑩ | 県 | 一関第二高等学校 〒021-0041 一関市赤荻字野中23 | 福祉教養科 | 瀬川 孝三 0191-25-2241 | 高橋恵里香 0191-25-5432 |
| | ⑪ | 県 | 久慈農林高等学校 〒028-0021 久慈市門前36地割10番 | 福祉教養科 | 高橋 恒 0194-53-4371 | 阿部也寸志 0194-53-2540 |
| | ⑫ | 県 | 一戸高等学校 〒028-5312 二戸郡一戸町一戸字蒔前60-1 | 福 祉 科 | 高橋 富男 0195-33-3042 | 佐藤 貴生 0195-33-2777 |
| | ⑬ | 県 | 岩谷堂高等学校 〒023-1122 江刺市館山4-47 | 総合学科 | 及川 征一 0197-35-1911 | 桜井 京 0197-35-4677 |
| | 14 | 私 | 盛岡スコーレ高等学校 〒020-0851 盛岡市向中野字才川2-3 | 総合学科 | 宮本 義孝 019-636-0827 | 田中 力 019-636-0830 |
| | ⑮ | 私 | 岩手女子高等学校 〒020-0025 盛岡市大沢川原1-5-34 | 福祉教養科 | 澤野 桂子 019-623-6467 | 竹田 久子 019-652-3327 |
| 宮 城 | ⑯ | 県 | 村田高等学校 〒989-1305 柴田郡村田町大字村田字金谷1 | 総合学科 | 天田 武邦 0224-83-2275 | 日吉ふく子 0224-83-2276 |
| 秋 田 | 17 | 県 | 大館桂高等学校 〒017-0876 大館市餅田2-3-1 | 普 通 科 | 栗田 廣 0186-49-1010 | 成田多美枝 0186-49-1011 |
| | 18 | 県 | 雄勝高等学校 〒019-0112 雄勝郡雄勝町下院内字小白岩197-2 | 普 通 科 | 小松田克己 0183-52-4355 | ————— 0183-52-4356 |
| | 19 | 県 | 増田高等学校 〒019-0701 平鹿郡増田町増田字一本柳137 | 総合学科 | 木村 養市 0182-45-2073 | 庄司 聰子 0182-45-2088 |

(○は今大会参加校)

| 都道府県名 | No. | | 学 校 名 〒 住 所 | 学 科 名 | 校 長 名 学校 T E L | 学科主任名 学校 F A X |
|-------|-----|--------|---|---------|-----------------------|-----------------------|
| 秋 田 | ⑳ | 組 合 | 公立合川高等学校 〒 018-4221 北秋田郡合川町下杉字中島 54-2 | 介護福祉科 | 小林 勝平 0186-78-3177 | 穴倉 博明 0186-78-3178 |
| | 21 | 県 | 湯沢北高等学校 〒 012-0823 湯沢市湯ノ原 2-1-1 | 生活科学科 | 柴田 昭二 0183-73-5168 | 小松田絢子 0183-73-5169 |
| 山 形 | ㉒ | 県 | 山辺高等学校 〒 990-0301 東村山郡山辺町大字山辺 3028 | 福 祉 科 | 金村 勲 023-664-5462 | 目黒 圭子 023-664-5545 |
| | 23 | 県 | 庄内総合高等学校 〒 999-7707 東田川郡余目町大字廿六木三ツ車 8 | 総 合 学 科 | 地主 友昭 0234-43-2138 | ————— 0234-42-1273 |
| | 24 | 県 | 鶴岡中央高等学校 〒 997-0017 鶴岡市大字大宝寺字日本国 410 | 総 合 学 科 | 中道 邦彦 0235-25-5723 | 松本 正和 0235-25-5733 |
| | ㉕ | 県 | 天童高等学校 〒 994-0021 天童市大字山元 850 | 総 合 学 科 | 仁藤 邦夫 023-653-6120 | 奥山留美子 023-653-6188 |
| 福 島 | ㉖ | 県 | 光南高等学校 〒 969-0227 西白河郡矢吹町田町 532 | 総 合 学 科 | 栗林 秀樹 0248-42-2205 | 櫛田 省吾 0248-44-3373 |
| | ㉗ | 県 | 川口高等学校 〒 968-0011 大沼郡金山町大字川口字蛇沢 2434-2 | 普 通 科 | 七島 藤雄 0241-54-2154 | ————— 0241-54-2240 |
| | 28 | 県 | 船引高等学校 〒 963-4398 田村郡船引町大字船引字石崎 15-3 | 普 通 科 | 佐藤 彦一 0247-82-1511 | 鈴木 千晶 0247-82-5233 |
| | 29 | 県 | 小野高等学校 〒 963-3401 田村郡小野町大字小野新町字宿後 63 | 総 合 学 科 | 山名 隆弘 0247-72-3171 | 北村 修一 0247-72-6211 |
| 茨 城 | ㉓ | 県 | 古河第二高等学校 〒 306-0024 古河市幸町 19-18 | 教養福祉科 | 植野 孝雄 0280-32-0444 | 萩原 明子 0280-31-6602 |
| | ㉔ | 県 | 八千代高等学校 〒 300-3561 結城郡八千代町大字平塚 4824-2 | 総 合 学 科 | 豊崎 功 0296-48-1836 | 潮田 巧巳 0296-48-3201 |
| 栃 木 | ㉚ | 県 | 真岡北陵高等学校 〒 321-4415 真岡市下籠谷 396 | 教養福祉科 | 山口 祐司 0285-82-3415 | 荒井 智子 0285-83-4634 |
| | ㉛ | 県 | 塩谷高等学校 〒 329-2332 塩谷郡塩谷町大宮 2579-1 | 社会福祉科 | 立入 輝夫 0287-45-1101 | 堀江 久子 0287-45-0986 |
| | ㉜ | 県 | 田沼高等学校 〒 327-0312 安蘇郡田沼町栃本 300-1 | 社会福祉科 | 高岡 正之 0283-62-3411 | 鈴木 洋子 0283-62-8404 |
| 群 馬 | 35 | 県 | 新田暁高等学校 〒 370-0347 新田郡新田町大根 999 | 総 合 学 科 | 吉見 功 0276-57-1056 | ————— 0276-57-3953 |
| | 36 | 県 | 渋川青翠 高等学校 〒 377-0000 渋川市折原 3912-1 | 総 合 学 科 | 信澤 明 0279-24-2320 | ————— 0279-24-9543 |
| | 37 | 県 | 大間々高等学校 〒 376-0102 山田郡大間々町桐原 193-1 | 普 通 科 | 若林 宏宗 0277-73-1611 | 田村 智子 0277-72-4212 |
| | ㉞ | 県 | 万場高等学校 〒 370-1503 多野郡万場町生利 1549-1 | 普 通 科 | 斎藤 藩 0274-57-3119 | 木内 信夫 0274-57-2453 |
| | 39 | 県 | 太田西女子高等学校 〒 373-0844 太田市下田島町 1243-1 | 家 政 科 | 森田 信 0276-31-0511 | 荒井 尚美 0276-31-8921 |

(○は今大会参加校)

| 都道府県名 | No. | | 学 校 名 〒 住 所 | 学 科 名 | 校 長 名 学校 T E L | 学科主任名 学校 F A X |
|-------|-----|---|---|---------|-----------------------|------------------------|
| 群 馬 | ④0 | 県 | 吾妻高等学校 〒 377-0894 吾妻郡吾妻町大字原町 192 | 福 祉 科 | 東 勲 0279-68-2334 | 山崎 智子 0279-68-2747 |
| 埼 玉 | ④1 | 県 | 不動岡誠和高等学校 〒 348-0024 羽生市神戸 706 | 社会福祉科 | 本橋 恒雄 0485-61-6651 | 佐藤 恵子 0485-60-1051 |
| 千 葉 | ④2 | 県 | 松戸矢切高等学校 〒 271-0095 松戸市中矢切 54 | 福祉教養科 | 床井 幸雄 047-368-4741 | 佐藤 知行 047-368-4396 |
| | ④3 | 県 | 御宿高等学校 〒 299-5102 夷隅郡御宿町久保 1528 | 普 通 科 | 坂井 紘子 0470-68-2911 | 峰島 文乃 0470-68-6886 |
| 山 梨 | 44 | 県 | 甲府城西高等学校 〒 400-0064 甲府市下飯田 1 丁目 9-1 | 総 合 学 科 | 長田 貞夫 055-223-3101 | 中込 芳江 055-223-3103 |
| 長 野 | ④5 | 県 | 上田千曲高等学校 〒 386-0034 上田市大字中之条 626 | 生活福祉科 | 石田 英勝 0268-22-7070 | 高橋加代子 0268-23-5370 |
| 東 京 | 46 | 都 | 大泉学園高等学校 〒 178-0061 練馬区大泉学園町 9-1-1 | 普 通 科 | 八代 晃 03-3924-3185 | 前田 朋乃 03-3924-9411 |
| | 47 | 都 | 南高等学校 〒 143-0027 大田区中馬込 3-11-10 | 普 通 科 | 飯島 篤 03-3774-0373 | ————— 03-3774-0325 |
| 神奈川 | 48 | 県 | 綾瀬西高等学校 〒 252-1123 綾瀬市早川 1485-1 | 普 通 科 | 大島 恵子 0467-77-5121 | 勝見 優 0467-76-8199 |
| | ④9 | 県 | 高浜高等学校 〒 254-0805 平塚市高浜台 8-1 | 普 通 科 | 佐々木重昭 0463-21-0418 | 梶原 実 0463-23-7138 |
| | ⑤0 | 市 | 川崎高等学校 〒 210-0806 川崎市川崎区中島 3-3-1 | 福 祉 科 | 内田 一洋 044-244-4981 | 小俣 三郎 044-211-8295 |
| | 51 | 県 | 津久井高等学校 〒 220-0209 津久井郡津久井町三ヶ木 272-1 | 普 通 科 | 立山 洋典 042-784-1053 | 村山 哲也 042-784-7960 |
| 新 潟 | ⑤2 | 県 | 八海高等学校 〒 949-6632 南魚沼郡六日町大字余川 1276 | 福 祉 科 | 吉原喜久雄 0257-72-3281 | 小野塚美代子 0257-72-8878 |
| | ⑤3 | 県 | 高田北城高等学校 〒 943-0824 上越市北城町 2-8-1 | 生活文化科 | 安田 邦英 0255-22-1164 | 池永 佳子 0255-26-1579 |
| | 54 | 県 | 新井高等学校 〒 944-0031 新井市田町 1 丁目 10-1 | 総 合 学 科 | 児玉 伸 0255-72-4151 | ————— 0255-72-7529 |
| | 55 | 県 | 西川竹園高等学校 〒 959-0421 西蒲原郡西川町大字鱸2-1 | 生活文化科 | 阪本 哲夫 0256-88-3131 | 寺崎 洋子 0256-88-2172 |
| | ⑤6 | 私 | 中越高等学校 〒 940-0875 長岡市新保町 1371-1 | 普 通 科 | 渡邊 昌雄 0258-24-0203 | 諸橋 益雄 0258-24-0205 |
| 富 山 | ⑤7 | 県 | 八尾高等学校 〒 939-2376 婦負郡八尾町福島 213 | 生活福祉科 | 坂巻 龍雄 0764-54-2205 | 桐井 優子 0764-54-5999 |
| | ⑤8 | 県 | 砺波女子高等学校 〒 932-0114 小矢部市清水 95-1 | 生活福祉科 | 澤田 欣郎 0766-61-2040 | 加賀谷恵子 0766-61-8255 |
| | ⑤9 | 県 | 有磯高等学校 〒 935-0025 氷見市鞍川 1056 | 生活福祉科 | 砂子阪政己 0766-74-0229 | 梶 晶子 0766-74-0228 |

(○は今大会参加校)

| 都道府県名 | No | | 学 校 名 〒 住 所 | 学 科 名 | 校 長 名 学校 T E L | 学科主任名 学校 F A X |
|-------|----|---|--|-------|-----------------------|-----------------------|
| 富 山 | ⑥0 | 県 | 新川女子高等学校 〒 937-0011 魚津市木下新 144 | 普 通 科 | 結城 正齐 0765-22-3535 | 小路由以子 0765-22-2119 |
| 石 川 | ⑥1 | 県 | 金沢伏見高等学校 〒 921-8044 金沢市米泉町 5-85 | 普 通 科 | 樋田 忠雄 076-242-6175 | 西田 圭子 076-242-7458 |
| | ⑥2 | 県 | 田鶴浜高等学校 〒 929-2122 鹿島郡田鶴浜町上野ヶ丘 59 | 健康福祉科 | 新村 健了 0767-68-3116 | 永井 和美 0767-68-2351 |
| | 63 | 県 | 柳田農業高等学校 〒 928-0331 鳳至郡柳田村字柳田イ部 3 | 生活科学科 | 山本 善昭 0768-76-1211 | 高宮 恵子 0768-76-0079 |
| 福 井 | ⑥4 | 県 | 大野東高等学校 〒 912-0016 大野市友江 9-10 | 福祉教養科 | 寺田 友昭 0779-66-4610 | 中村由美子 0779-66-5577 |
| | ⑥5 | 私 | 啓新高等学校 〒 910-0017 福井市文京 4 丁目 15-1 | 福 祉 科 | 荻原 芳昭 0776-23-3489 | 定兼 絃美 0776-21-2922 |
| 静 岡 | ⑥6 | 県 | 吉田高等学校 〒 421-0303 榛原郡吉田町片岡 2130 | 福 祉 科 | 中村羊一郎 0548-32-1241 | 松永 光司 0548-32-7831 |
| | 67 | 私 | 三島高等学校 〒 411-0944 駿東郡長泉町竹原 354 | 福 祉 科 | 小崎 祥道 0559-75-0035 | 松本 寿子 0559-76-0735 |
| | 68 | 私 | 静岡女子高等学校 〒 422-8076 静岡市八幡 3 丁目 6-1 | 福 祉 科 | 赤塚 千秀 054-285-2274 | 太田久巳子 054-282-2757 |
| | 69 | 私 | 沼津中央高等学校 〒 410-0033 沼津市杉崎町 11-20 | 普 通 科 | 勝又義太郎 0559-21-0346 | 村松 正安 0559-24-7158 |
| | 70 | 県 | 熱海高等学校 〒 413-0102 熱海市下多賀字向山 484-2 | 普 通 科 | 小澤 文郎 0557-68-3291 | ————— 0557-68-1854 |
| 愛 知 | ⑦1 | 県 | 高浜高等学校 〒 444-1311 高浜市本郷町 1-6-1 | 福 祉 科 | 岡 謙二 0566-52-2100 | 鋤柄由美子 0566-52-7059 |
| | 72 | 県 | 宝陵高等学校 〒 441-1205 宝飯郡一宮町大字大木字鑓水 445 | 生活福祉科 | 河合 誠二 0533-93-2041 | 野澤 民恵 0533-93-2826 |
| | ⑦3 | 県 | 古知野高等学校 〒 483-8331 江南市古知野町高瀬 1 | 福 祉 科 | 小田 博一 0587-56-2508 | 嶋田麻知代 0587-53-0989 |
| | 74 | 県 | 桃陵高等学校 〒 474-0025 大府市中央町 5-15 | 生活福祉科 | 桑田 良子 0562-46-5351 | 河井 典子 0562-44-0656 |
| 岐 阜 | ⑦5 | 県 | 大垣桜高等学校 〒 503-0103 安八郡墨俣町上宿 465-1 | 福 祉 科 | 郷 孝夫 0584-62-6131 | 渡部 洋子 0584-62-5608 |
| | 76 | 県 | 岐阜総合学園高等学校 〒 500-8289 岐阜市須賀 2-7-25 | 総合学科 | 荒井 強平 058-271-5548 | 市原 詔子 058-274-2350 |
| | ⑦7 | 県 | 坂下女子高等学校 〒 509-9232 恵那郡坂下町下 624-1 | 生活文化科 | 酒井 雅敏 0573-75-2163 | 安江実恵子 0573-75-4011 |
| | ⑦8 | 県 | 瑞浪高等学校 〒 509-6196 瑞浪市土岐町 7942 | 生活福祉科 | 加藤 千晴 0572-68-4161 | 遠藤 浩代 0572-67-1988 |
| 三 重 | ⑦9 | 県 | 明野高等学校 〒 519-0501 度会郡小俣町明野 1481 | 福 祉 科 | 世古口幸弘 0596-37-4125 | 横井 道子 0596-37-4127 |

(○は今大会参加校)

| 都道府県名 | No. | | 学 校 名 〒 住 所 | 学 科 名 | 校 長 名 学 校 T E L | 学 科 主 任 名 学 校 F A X |
|-------|------|---|--|-----------|-----------------------|------------------------|
| 三 重 | (80) | 県 | 上野商業高等学校 〒 518-0833 上野市緑ヶ丘東町 920 | 福 祉 科 | 須藤 淳三 0595-21-1900 | 富井 恵子 0595-21-1923 |
| | 81 | 県 | みえ夢学園高等学校 〒 514-0803 津市柳山津興 1239 | 総 合 学 科 | 小林 秀則 059-226-6257 | ————— 059-226-6218 |
| 滋 賀 | (82) | 県 | 長浜高等学校 〒 526-0033 長浜市平方町三反田 270 | 福 祉 科 | 山崎 忠士 0749-62-0896 | 村元 研二 0749-65-1340 |
| | (83) | 私 | 滋賀学園高等学校 〒 527-0003 八日市市建部北町 520-1 | 普 通 科 | 清田 剛 0748-23-0858 | 岩崎由美子 0748-23-6145 |
| 京 都 | 84 | 私 | 聖家族女子高等学校 〒 622-0002 船井郡園部町美園町 1-78 | 普 通 科 | 石田 一彦 0771-62-0163 | 前川 尚慶 0771-62-0989 |
| | (85) | 私 | 福知山淑徳高等学校 〒 620-0936 福知山市正明寺 36-10 | 総 合 学 科 | 山口 亨 0773-22-3763 | 渡邊みどり 0773-23-5519 |
| 大 阪 | (86) | 府 | 松原高等学校 〒 580-0041 松原市三宅東 3-4-1 | 総 合 学 科 | 野村 利夫 0723-34-8008 | 加納 明彦 0723-34-8142 |
| | (87) | 府 | 柴島高等学校 〒 533-0024 大阪市東淀川区柴島 1-7-106 | 総 合 学 科 | 今宿 純男 06-6323-8351 | 兵部 雅彦 06-6323-8237 |
| 兵 庫 | (88) | 県 | 日高高等学校 〒 669-5302 城崎郡日高町岩中 1 | 福 祉 科 | 宮谷 勝史 0796-42-1133 | 山崎 由美 0796-42-1648 |
| | (89) | 県 | 新宮高等学校 〒 671-4131 揖保郡新宮町新宮 27-1 | 福 祉 科 | 鈴木 英雄 0791-75-0018 | 長森 順子 0791-75-2549 |
| | (90) | 私 | 神戸第一高等学校 〒 651-0058 神戸市中央区葺合町寺ヶ谷 1 | 家 政 科 | 岸本 進 078-242-4811 | 重野 緑 078-242-5723 |
| 奈 良 | (91) | 県 | 榛原高等学校 〒 633-0241 宇陀郡榛原町下井足 210 | 福 祉 科 | 大矢 巖 0745-82-0525 | 中西美砂子 0745-82-7606 |
| | (92) | 私 | 天理(定)高等学校 〒 632-8585 天理市杣之内町 1260 | 介 護 福 祉 科 | 竹村 菊郎 0743-63-7682 | 山下 順弘 0743-63-7400 |
| 鳥 取 | 93 | 県 | 岩美高等学校 〒 681-0003 岩美郡岩美町浦富 708-2 | 普 通 科 | 村上 謙一 0857-72-0474 | 山本 仁司 0857-72-3445 |
| 島 根 | 94 | 県 | 益田産業高等学校 〒 698-0041 益田市高津町イ 2518-1 | 総 合 学 科 | 多田 利昭 0856-22-0642 | 坂本 榮子 0856-22-0684 |
| | (95) | 県 | 松江農林高等学校 〒 690-8507 松江市乃木福富町 51 | 総 合 学 科 | 西尾 克己 0852-21-6772 | 汐見 夏江 0852-21-6796 |
| | (96) | 私 | 明誠高等学校 〒 698-0006 益田市三宅町 7-37 | 福 祉 科 | 岸 政信 0856-22-1052 | 齋藤 智揮 0856-22-8729 |
| | 97 | 私 | 松徳女学院高等学校 〒 690-0015 松江市上乃木 1-14-51 | 普 通 科 | 吉田 章子 0852-21-5578 | 山本 寿子 0852-21-1350 |
| 岡 山 | (98) | 県 | 倉敷中央高等学校 〒 710-0845 倉敷市西富井 1384 | 福 祉 科 | 長尾 藤衛 086-465-2559 | 本多 淳宏 086-466-2832 |
| | (99) | 県 | 吉備北陵高等学校 〒 716-1112 上房郡賀陽町湯山 1028 | 普 通 科 | 篠原 孝房 0866-54-1033 | 児子 文子 0866-54-0933 |

(○は今大会参加校)

| 都道府県名 | No. | | 学 校 名 〒 住 所 | 学 科 名 | 校 長 名 学校TEL | 学科主任名 学校FAX |
|-------|-----|---|--|---------|-----------------------|-----------------------|
| 岡 山 | ⑩〇〇 | 私 | 美作高等学校 〒 708-0004 津山市山北 500 | 普 通 科 | 上田 敏博 0868-22-4838 | 明楽 俊應 0868-24-6171 |
| | ⑩〇一 | 私 | ベル学園高等学校 〒 700-0054 岡山市下伊福西町 7-38 | 社会福祉科 | 高畑 幸彦 086-252-2101 | 五十嵐 武 086-253-0582 |
| | 102 | 県 | 福渡高等学校 〒 709-3111 御津郡建部町福渡 425 | 普 通 科 | 東城 達彦 0867-22-0741 | 河本 洋子 0867-22-2380 |
| | 103 | 県 | 日本原高等学校 〒 708-1204 勝田郡勝北町日本原 577 | 家 政 科 | 木曾 城 0868-36-5165 | 則本 智子 0868-36-5336 |
| | ⑩〇四 | 市 | 岡山後楽館高等学校 〒 700-0814 岡山市天神町 9-24 | 総 合 学 科 | 宇佐見一郎 086-226-7100 | 寺田 貴美 086-226-7109 |
| 広 島 | ⑩〇五 | 県 | 黒瀬高等学校 〒 724-0622 賀茂郡黒瀬町乃美尾 1 | 福 祉 科 | 吉田 照男 0823-82-2525 | 黒田 京子 0823-82-2527 |
| | ⑩〇六 | 県 | 世羅高等学校 〒 722-1193 世羅郡世羅町本郷 870 | 生活福祉科 | 田邊 康嗣 08472-2-1118 | 西郡 祐子 08472-2-5244 |
| | 107 | 県 | 吉田高等学校 〒 731-0501 高田郡吉田町吉田 719-3 | 生活福祉科 | 津田 義則 0826-42-0031 | 垣内里恵子 0826-42-0207 |
| 山 口 | ⑩〇八 | 県 | 久賀高等学校 〒 742-2301 大島郡久賀町 4851-2 | 福 祉 科 | 藤重 豊 08207-2-0024 | 山本 泰史 08207-2-0096 |
| | ⑩〇九 | 私 | 中村女子高等学校 〒 753-8530 山口市駅通り 1-1-1 | 介護福祉科 | 五十部益一 0839-22-0418 | 河本 義満 0839-22-8063 |
| | 110 | 私 | 聖光高等学校 〒 743-0011 光市光井 9-22-1 | 普 通 科 | 東條 博典 0833-72-1187 | 河野江利子 0833-72-1308 |
| 高 知 | 111 | 県 | 城山高等学校 〒 781-5310 香美郡赤岡町 1612 | 普 通 科 | 野島 國弘 0887-55-2126 | 曾我部公彦 0887-55-0170 |
| | ⑩一二 | 県 | 室戸高等学校 〒 781-7102 室戸市室津 221 | 総 合 学 科 | 時久 公郎 0887-22-1155 | 松木 智子 0887-22-3891 |
| 徳 島 | ⑩一三 | 県 | 城西高等学校 〒 770-0046 徳島市鮎喰町 2-1 | 総 合 学 科 | 手塚 文雄 088-631-5138 | 鎌田かおる 088-633-0453 |
| | ⑩一四 | 県 | 小松島西高等学校 〒 773-0015 小松島市中山町原の下 28-1 | 福 祉 科 | 北条 種一 08853-2-0129 | 稲村 桂子 08853-2-5462 |
| 香 川 | ⑩一五 | 県 | 三木高等学校 〒 761-0702 木田郡三木町平木 750 | 総 合 学 科 | 永澤 正好 087-891-1100 | 竹内 泰枝 087-891-1551 |
| | ⑩一六 | 県 | 飯山高等学校 〒 762-0083 綾歌郡飯山町下法軍寺 664-1 | 総 合 学 科 | 越智 熙 0877-98-5138 | 渡辺恵美子 0877-98-2576 |
| 愛 媛 | ⑩一七 | 県 | 新居浜南高等学校 〒 792-0836 新居浜市篠場町 1-32 | 総 合 学 科 | 森 謙司 0897-43-6191 | 定岡 秀美 0897-44-7447 |
| | ⑩一八 | 県 | 北条高等学校 〒 799-2493 北条市辻 600-1 | 総 合 学 科 | 阿部 龍昭 089-993-0333 | 出来 朋子 089-993-0429 |
| | 119 | 県 | 川之石高等学校 〒 796-0201 西宇和郡保内町川之石 1-112 | 総 合 学 科 | 阿部 正幸 0894-36-0550 | 酒井賀陽子 0894-36-1994 |

(○は今大会参加校)

| 都道府県名 | No | | 学 校 名 〒 住 所 | 学 科 名 | 校 長 名 学校TEL | 学科主任名 学校FAX |
|-------|-----|---|---|---------|-----------------------|-----------------------|
| 愛 媛 | ⑫0 | 私 | 松山城南高等学校 〒 790-8550 松山市北久米 815 | 福 祉 科 | 西村 義臣 089-976-4343 | 中田千栄子 089-976-4348 |
| 福 岡 | ⑫1 | 県 | 三井高等学校 〒 838-0122 小郡市松崎 650 | 普 通 科 | 神坂 貞幸 0942-72-2161 | 内田 洋子 0942-72-9064 |
| | ⑫2 | 県 | 久留米筑水高等学校 〒 839-0817 久留米市山川町 1493 | 社会福祉科 | 山鹿 肇雄 0942-43-0461 | 佐々木哲雄 0942-45-0143 |
| | ⑫3 | 私 | 杉森女子高等学校 〒 832-0046 柳川市奥州町 3 | 福 祉 科 | 柏原 正憲 0944-72-5216 | 森 茂樹 0944-72-5218 |
| | 124 | 私 | 慶成高等学校 〒 803-0854 北九州市小倉北区皿山町 15-1 | 人間科学科 | 鈴木 孝顕 093-561-1331 | 中村 浄志 093-561-4844 |
| | 125 | 県 | 黒木高等学校 〒 834-1216 八女郡黒木町大字桑原 10-2 | 普 通 科 | 寺崎 祥尊 0943-42-1150 | 中園 和昭 0943-42-3791 |
| | 126 | 市 | 福岡女子高等学校 〒 819-0013 福岡市西区愛宕浜 3-2-2 | 保育福祉科 | 古賀 哲躬 092-881-7344 | 中山 祥子 092-883-4227 |
| | 127 | 私 | 沖学園高等学校 〒 816-0095 福岡市博多区竹下 2-1-33 | 社会総合学科 | 沖 隆邦 092-431-1868 | 林 洋三 092-441-3274 |
| | 128 | 私 | 直方女子高等学校 〒 822-0025 直方市日吉町 10-12 | 介護福祉科 | 川原 克彦 0949-22-0533 | 小川征一郎 0949-22-0535 |
| | 129 | 私 | 折尾女子学園高等学校 〒 807-0861 北九州市八幡西区堀川町 12-10 | 普 通 科 | 増田 仰 093-602-2100 | 永松良一郎 093-692-5690 |
| | ⑬0 | 私 | 福智高等学校 〒 825-0002 田川市大字伊田 3934 | 介護福祉科 | 井上 秋弘 0947-42-4711 | 東 和麿 0947-44-7289 |
| | ⑬1 | 県 | 大牟田南高等学校 〒 836-0872 大牟田市黄金町 1-26 | 普 通 科 | 右田 稔 0944-53-3510 | 吉田 政枝 0944-52-2617 |
| 佐 賀 | 132 | 県 | 神埼清明高等学校 〒 842-0012 神埼郡神埼町横武 2 | 総 合 学 科 | 浜田 隆 0952-52-3191 | 東島貴美子 0952-51-1017 |
| 長 崎 | 133 | 私 | 玉木女子高等学校 〒 850-0822 長崎市愛宕 1 丁目 21-6 | 福 祉 科 | 岩橋 弘 095-826-6321 | 澤田 忠和 095-828-6837 |
| 熊 本 | 134 | 県 | 八代農業高等学校 〒 869-4201 八代郡鏡町大字鏡村 129 | 福祉教養科 | 増永 孝 0965-52-0076 | 元山 満子 0965-52-5048 |
| | 135 | 県 | 多良木高等学校 〒 868-0501 球磨郡多良木町多良木 1212 | 普 通 科 | 島田 直孝 0966-42-2102 | 瀬音 博美 0966-49-1022 |
| | 136 | 私 | 菊池女子高等学校 〒 861-1331 菊池市隈府 1081 | 社会福祉科 | 荒木 修 0968-25-3032 | 中村 巴 0968-25-3180 |
| | ⑬7 | 私 | 城北高等学校 〒 861-0542 山鹿市志々岐字大野原 798 | 社会福祉科 | 松浦シズエ 0968-44-8111 | 馬場 誠也 0968-44-0747 |
| | 138 | 私 | 熊本フェイス女学院高等学校 〒 861-4106 熊本市南高江 7 丁目 3-1 | 医療福祉科 | 平川 勇 096-357-7151 | 岩野 徳子 096-358-3044 |
| | ⑬9 | 県 | 阿蘇清峰高等学校 〒 869-2612 阿蘇郡一の宮町宮地 4131 | 社会福祉科 | 梶原蘇實夫 0967-22-0045 | 中山 美宇 0967-22-5161 |

(○は今大会参加校)

| 都道府県名 | No. | | 学 校 名 〒 住 所 | 学 科 名 | 校 長 名 学校TEL | 学科主任名 学校FAX |
|-------|-----|----|---|----------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 熊 本 | 140 | 県 | 甲佐高等学校 〒 861-4606 上益城郡甲佐町横田 327 | 普 通 科 | 西井 邦紀 096-234-0041 | 稲富 恵子 096-234-4425 |
| 大 分 | 141 | 県 | 山香農業高等学校 〒 879-1306 速見郡山香町広瀬 4706 | 生活科学科 | 福澤 皓一 0977-75-1166 | 藤内 節子 0977-75-1165 |
| | ⑭② | 県 | 野津高等学校 〒 875-0201 大野郡野津町大字野津市 537-1 | 福 祉 科 | 臼杵 秀朗 0974-32-2031 | 藤田 泰子 0974-32-2119 |
| | 143 | 私 | 楊志館高等学校 〒 870-0838 大分市桜ヶ丘 7-8 | 普 通 科 | 明石 晴之 097-543-6711 | 佐々木 修 097-543-4516 |
| | 144 | 県 | 邪馬溪高等学校 〒 871-0404 下毛郡邪馬溪町大字戸原1663-1 | 普 通 科 | 大野 成臣 0979-54-2011 | 小野 潤子 0979-54-2519 |
| | 145 | 県 | 玖珠農業高等学校 〒 879-4403 玖珠郡玖珠町大字帆足 160 | 生活科学科 | 穴井 裕康 09737-2-1148 | 飯田 元喜 09737-2-1149 |
| | 146 | 私 | 大分市城南高等学校 〒 870-0883 大分市永興 550 | 保育福祉科 | 首藤 久登 097-544-3551 | 篠田 えみ 097-544-5883 |
| | ⑭⑦ | 私 | 大分東明高等学校 〒 870-8658 大分市千代町 2-4-4 | 商 業 科 | 古川 成門 097-535-0201 | 平嶋 充博 097-533-2660 |
| | 148 | 私 | 昭和女子高等学校 〒 877-0082 日田市日ノ出町 14 | 福 祉 科 | 手島 誠一 0973-22-7420 | 阿部 里美 0973-23-8737 |
| | 宮 崎 | ⑭⑨ | 県 | 妻高等学校 〒 881-0003 西都市大字右松 2330 | 福祉生活科 | 鷲谷九州男 0983-43-0005 |
| ⑭⑩ | | 県 | 日南農林高等学校 〒 889-3202 南那珂郡南郷町大字中村甲 3543 | 福祉生活科 | 小西 国雄 0987-64-1177 | 井戸川浜子 0987-64-1947 |
| 151 | | 県 | 門川農業高等学校 〒 889-0611 東臼杵郡門川町大字門川尾末 2680 | 福祉生活科 | 岩崎健一郎 0982-63-1336 | 谷名千恵美 0982-63-5194 |
| ⑭② | | 県 | 高原高等学校 〒 889-4411 西諸県郡高原町大字広原 4981-2 | 福祉生活科 | 小野 順章 0984-42-1010 | 有嶋 正恵 0984-42-1270 |
| 153 | | 私 | 都城高等学校 〒 885-8502 都城市蓑原町 7916 | 介護福祉科 | 竹之内秀文 0986-23-2477 | 相葉 春信 0986-26-5220 |
| 鹿 児 島 | ⑭④ | 県 | 加世田常潤高等学校 〒 897-0002 加世田市武田 14863 | 生活福祉科 | 諸木 逸郎 0993-53-3600 | 吉永 裕子 0993-53-3601 |
| | ⑭⑤ | 私 | 加治木女子高等学校 〒 899-5241 始良郡加治木町木田 5348 | 医療福祉科 | 桐原 祥二 0995-63-3001 | 島村 健二 0995-63-3002 |
| | 156 | 私 | 鳳凰高等学校 〒 897-1121 加世田市唐仁原 1202 | 医療福祉科 | 西 美継 0993-53-3633 | 福澤 康之 0993-53-7974 |
| | ⑭⑦ | 私 | 出水中央高等学校 〒 899-0213 出水市西出水町 448 | 医療福祉科 | 松ヶ野正弘 0996-62-0500 | 川畑 博美 0996-62-6677 |
| | 158 | 私 | 神村学園高等部 〒 896-8686 串木野市下名 4460 | 医療福祉科 | 神村 裕之 0996-32-3232 | 川瀬 勉 0996-32-2990 |
| | ⑭⑨ | 県 | 宮之城農業高等学校 〒 895-1811 薩摩郡宮之城町虎居 1900 | 福 祉 科 | 上妻 勝士 0996-53-0020 | 黒木加代子 0996-53-2718 |

(○は今大会参加校)

| 都道府県名 | No. | | 学 校 名 〒 住 所 | 学 科 名 | 校 長 名 学校TEL | 学科主任名 学校FAX |
|-------|-----|---|---|-------|-----------------------|-----------------------|
| 鹿児島 | ①60 | 私 | 樟南高等学校 〒 890-0044 鹿児島市常盤町 440-6 | 介護福祉科 | 時任 克暢 099-281-2900 | 有木 時義 099-281-2522 |
| | 161 | 私 | 鹿児島城西高等学校 〒 899-2593 日置郡伊集院町清藤 1938 | 社会福祉科 | 川原 孝一 099-273-1234 | 上釜 洋行 099-273-1651 |
| | ①62 | 私 | 尚志館 〒 899-7104 曾於郡志布志町安楽 6200 | 医療福祉科 | 林 敬二郎 0994-72-1318 | 中川 充 0994-72-1319 |
| | 163 | 私 | 鹿児島情報高等学校 〒 891-0141 鹿児島市谷山中央 2-4118 | 医療福祉科 | 原田 理幸 099-268-3101 | 岩戸 得代 099-266-1851 |
| 沖縄 | ①64 | 県 | 陽明高等学校 〒 901-2113 浦添市字大平 488 | 介護福祉科 | 宮城 政一 098-879-3062 | 比嘉 加代 098-879-9520 |
| 神奈川 | 165 | 私 | 明倫高等学校 〒 240-0023 横浜市保土ヶ谷区岩井町 447 | 普通科 | 黒沢 全紹 045-731-4361 | 永瀬 敦雄 045-716-0202 |
| 滋賀 | ①66 | 市 | 守山女子高等学校 〒 524-0041 守山市勝部 3-9-1 | 生活総合科 | 鷹羽 強 077-582-2019 | 中西 順子 077-583-2829 |

昨年までの加盟校 147校
 平成12年度新規加盟校 20校
 平成12年度退会校 1校

<本大会協力校一覧>

神戸市立六甲アイランド高等学校
 守山市立守山女子高等学校
 京都府立久美浜高等学校
 和歌山県立有田中央高等学校
 兵庫県立香寺高等学校
 兵庫県日ノ本学園高等学校

あ と が き

- ・全国大会の成功のもと報告書もよいものにと精一杯努力し、作りました。ここに兵庫大会報告書（通巻6号）をお送りいたします。
- ・主管校の兵庫県立新宮高等学校の校長先生をはじめ諸先生方、また近畿地区の関係高等学校の先生方に大変お世話になりました。この報告書の発刊にあたり、関係諸先生に厚くお礼を申し上げます。
- ・福祉教育の変化の大きい時に事務局を引き受け不安で一杯でしたが、とても勉強になりました。これからの福祉教育のますますの発展を祈念し、事務局のお礼のことばにいたします。

（事務局）

大会予告

と き 平成13年10月25日（木）・26日（金）
ところ 岩手県一関市
主管校 岩手県立一関第二高等学校

理事会及び学科主任等代表者会議予告

と き 平成12年5月23日（水）
10時より 学科主任代表者会議
1時より 理事会
ところ 家庭部会事務局（東京飯田橋駅下車）

事務局

栃木県立真岡北陵高等学校
〒321-4415 栃木県真岡市下笹谷396
T E L 0285-82-3415
F A X 0285-83-4634